

公共施設の再配置に関する市民アンケート調査結果 報告書

大阪狭山市

目次

1. 調査の概要	1
2. 調査結果（概要）	3
1. 回答者の属性	4
2. 短期に実施していくエリアについて	5
問1 Dエリアの再配置の取組みへの参加方法（複数回答）	5
問2 Dエリアの将来像（複数回答）	7
問3 Dエリアの充実させるべき機能（複数回答）	10
問4 Dエリアの施設の利用状況	13
3. 自由意見	16
参考資料（アンケート調査票）	38

1. 調査の概要

1.1 調査の目的

本市では、これまで、経済発展や人口増加を背景に、多くの公共施設を整備してきましたが、いずれの施設も老朽化が進み、大規模な修繕や建替えが必要な状況にあります。また、人口減少・少子高齢化といった人口構成の変化や公共施設に対する市民ニーズの変化など公共施設を取り巻く状況も大きく変化していることから今後の公共施設のあり方について検討することが喫緊の課題となっています。

本アンケートは、まちの将来像を見据えた「公共施設の再配置」を検討するうえでの基礎資料として使用することを目的として実施したものです。

1.2 調査の実施概要

【郵送配布による実施】

調査対象：16 歳以上の市民 3,000 人（無作為抽出）

調査方法：郵送配布・郵送回収

実施期間：令和6年4月1日（月）～4月22日（月）

【広報誌・施設での周知による実施】

調査対象：市内に居住・通勤・通学する人

調査方法：LINE 登録をしている市民への周知、広報4月号での周知、下表の施設での周知を行い、それぞれに添付している LOGO フォームを用いて回収あるいは書面による窓口回収。

資料を設置している施設

ニュータウン連絡所(コミュニティセンター)、市民活動支援センター(庁舎南館 2 階)、図書館、市立公民館、社会教育センター、総合体育館、さやま荘、郷土資料館(狭山池博物館)、さつき荘、保健センター、障害者地域活動支援センター

1.3 配布・回収状況

郵送配布による実施と広報誌・施設での周知による実施を合わせた有効回収数 1,055 票。

	配布	不着	有効回収数	有効回収率
郵送配布による 実施	3,000 票	12 票	912 票 内 郵送回収:738 票 WEB 回収:174 票	30.5%
広報誌・施設での 周知による実施	—	—	143 票	—
合計	—	—	1,055 票	—

1.4 調査項目

- ・再配置の取組みを進める上での意見交換や情報共有の方法(問1)
- ・Dエリアの将来像(問2)
- ・Dエリアにおける必要な機能(問3)
- ・Dエリアの施設の利用状況とDエリアまでの交通手段(問4)
- ・回答者属性
- ・自由意見

1.5 本レポートを読む際の留意点

1) 用語・符号など

- ・「n」は質問に対する回答者数を表し、これを分母として数値(%)を算出します。
- ・数値(%)は、各実数をもとに比率表示し、小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が見た目上99.9%や100.1%など、100.0%にならないことがあります。

2) 信頼区間

本調査はサンプル調査のため、抽出における誤差を考慮する必要があります。

通常、世論調査などでは、信頼度95%(同一の調査を100回行えば95回まで同じ結果になるだろうという推定)のレベルを求めるのが一般的ですが、標本誤差(誤差の近似値)は次式で求められ、信頼度95%の場合の信頼区間(見込むべき誤差)は下表のようになります。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \times \sqrt{(N-n) \cdot P(100-P) / (N-1) \cdot n}$$

N:母集団数(58,435人(R2.10.1))、n:標本数(1,055)、P:測定値(%)

【信頼度95%における主要な%の信頼区間】

回答(%)	95	90	85	80	75	70	65	60	55	50
n	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50
誤差	±1.3	±1.8	±2.1	±2.4	±2.6	±2.7	±2.9	±2.9	±3.0	±3.0

3) その他

各問の選択肢や自由記述については、スペースの関係上、文意等を損なわない程度に省略(簡略化)している場合があります。

2. 調査結果(概要)

ア 再配置の取組みを進める上での意見交換や情報共有の方法（問１）

- ・取組みを進める上で参加したいと思う方法は、「アンケート」が最も多く、次いで「講演会・説明会」、「ワークショップ」、「タウンミーティング」の順となっています。
- ・70～79 歳、80 歳以上では「講演会・説明会」が最も多くなっています。

イ Dエリアの将来像（問２）

- ・D エリアについて利用したくなる将来像は、「複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい」、「建物の安全性が高く、災害時に避難できる」、「ゆっくり過ごすことができる」などが挙げられています。
- ・30 代では「子どもを連れて楽しめる」が最も多くなっています。

ウ Dエリアにおける必要な機能（問３）

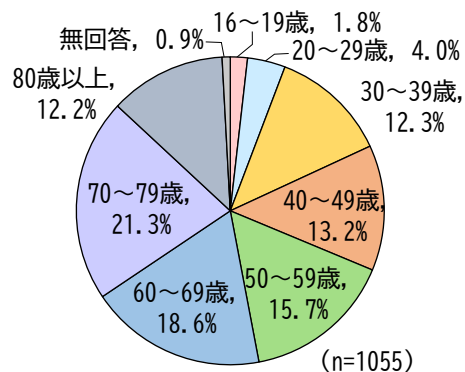
- ・必要な機能は、「防災機能」「図書館機能」「診療機能」「交通結節点機能」「飲食ができる機能」などが挙げられています。

エ Dエリアの施設の利用状況と交通手段（問４）

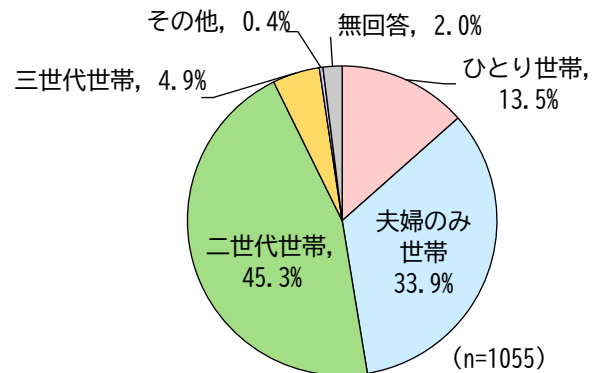
- ・利用頻度の高い回答者は、図書館で2割、公民館で1割、その他の施設は1割未満となっています。
- ・利用しない理由は「利用する機会がないから」が最も多く、次いで「アクセスが不便」、「設備に不満（古い、狭い）」などが挙げられています。
- ・D エリアまでの移動手段は、「自家用車」が最も多く全体の6割以上を占めています。
- ・16～19 歳では「自転車」が、80 歳以上では「バス」が最も多くなっています。

1. 回答者の属性

ア) 年齢

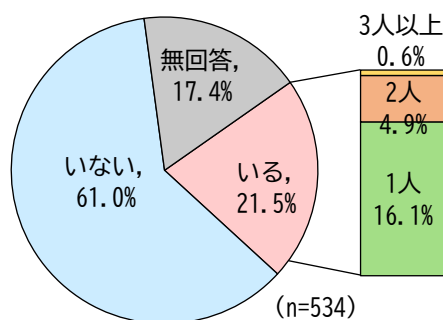


イ) 家族構成

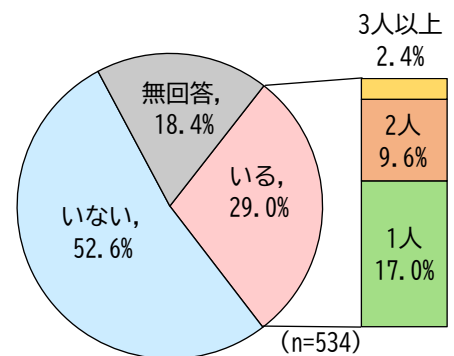


イ)-①就学前の乳児・幼児のいる世帯

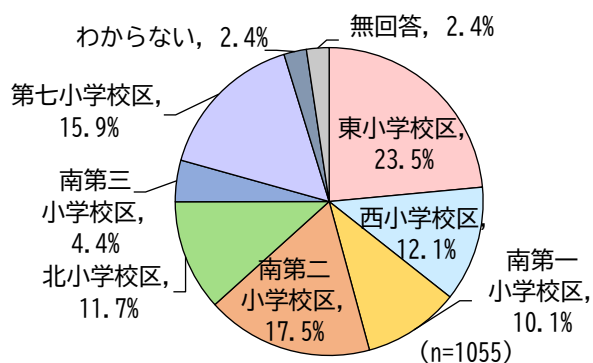
※家族構成「二世世代世帯」、「三世世代世帯」、「その他」の世帯と回答された方 534 人に尋ねました。



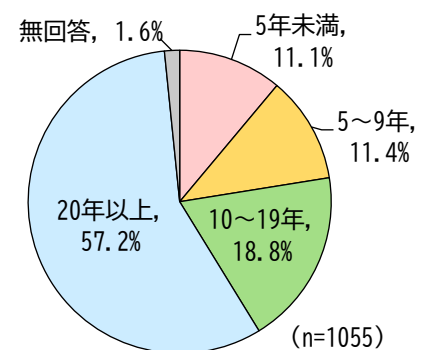
イ)-②小学生・中学生のいる世帯



ウ) お住まいの小学校区



エ) 居住年数

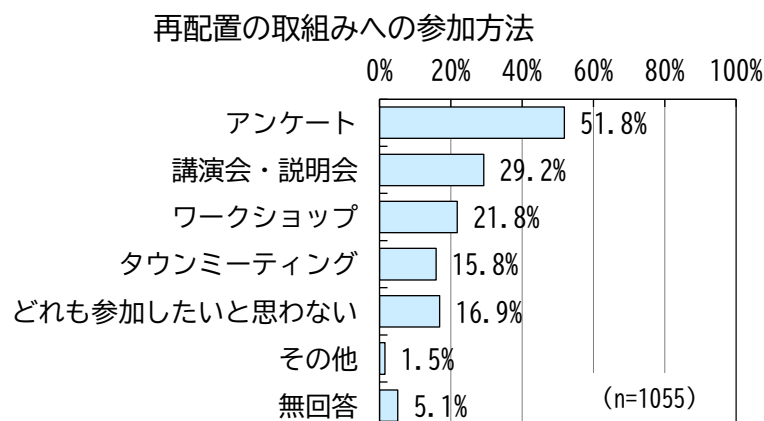


2. 短期に実施していくエリアについて

問1 Dエリアの再配置の取組みへの参加方法(複数回答)

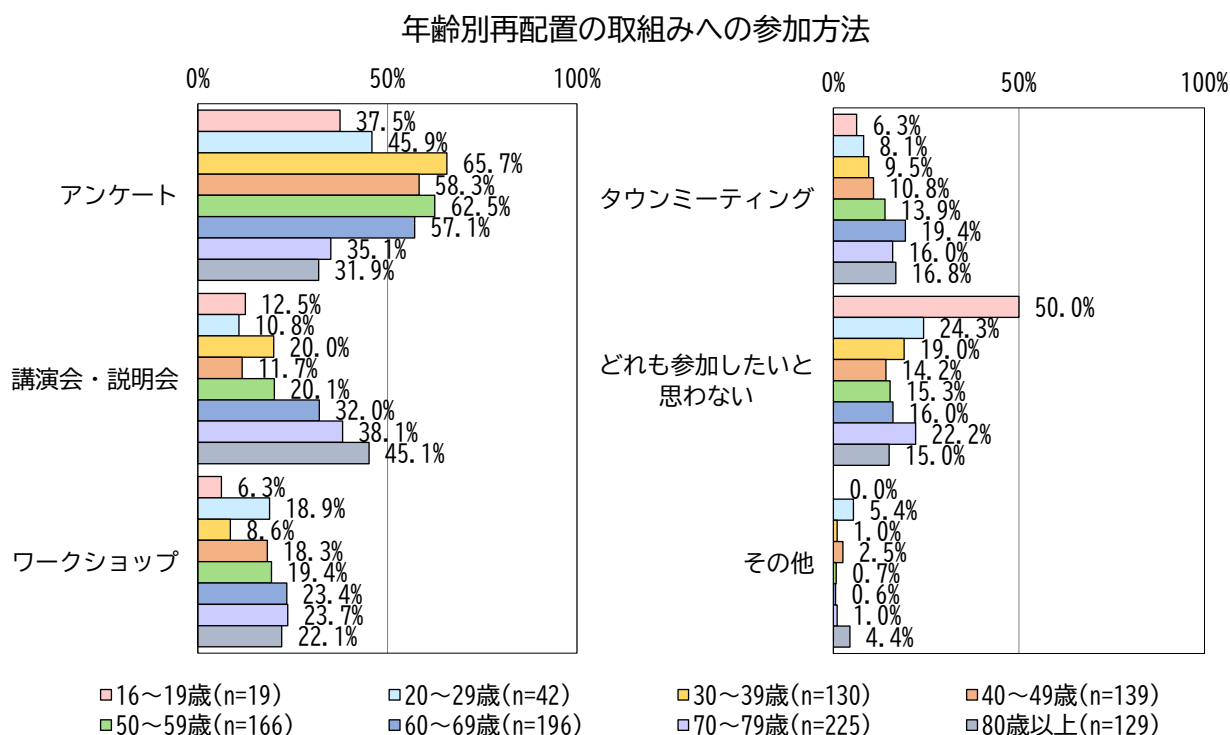
Dエリアの取組みを優先的に進めていくことを想定していますが、Dエリアの取組みを進めるにあたって、今後あなたが参加したいと思えるものすべてに○印をつけてください。

- ・D エリアの取組みを進めるにあたって、参加したいと思うものは「アンケート」(51.8%,547 人)が最も多く、次いで「講演会・説明会」(29.2%,308 人)、「ワークショップ」(21.8%,230 人)、「タウンミーティング」(15.8%,167 人)の順となっています。



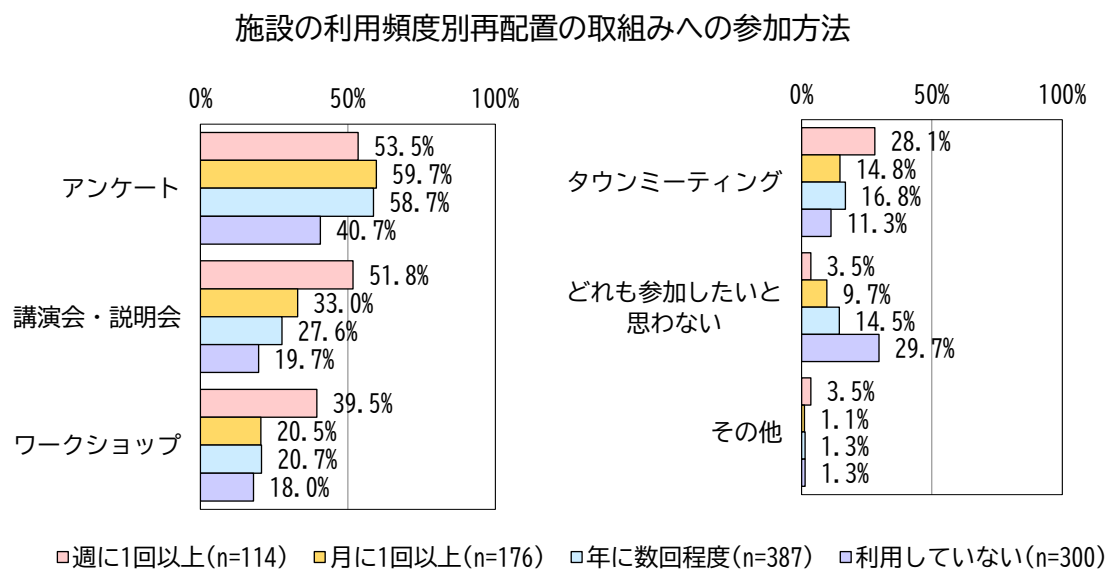
【再配置の取組みへの参加方法×年齢別】

- ・年齢別にみると、D エリアの取組みを進めるにあたって、参加したいと思うものは70歳未満の年代では「アンケート」が最も多くなっています。
- ・70～79歳、80歳以上では「講演会・説明会」が最も多く、他の年代に比べてその割合が多くなっています。
- ・16～19歳では「どれも参加したいと思わない」の割合が他の年代に比べ多くなっています。



【再配置の取組みへの参加方法×利用頻度】

- ・D エリアの施設利用頻度別にみると、取組みを進めるにあたって、参加したいと思うものは利用頻度にかかわらず「アンケート」が最も多くなっています。
- ・利用頻度が高いと「講演会・説明会」「ワークショップ」に参加したいという回答の割合が多くなる傾向がみられます。

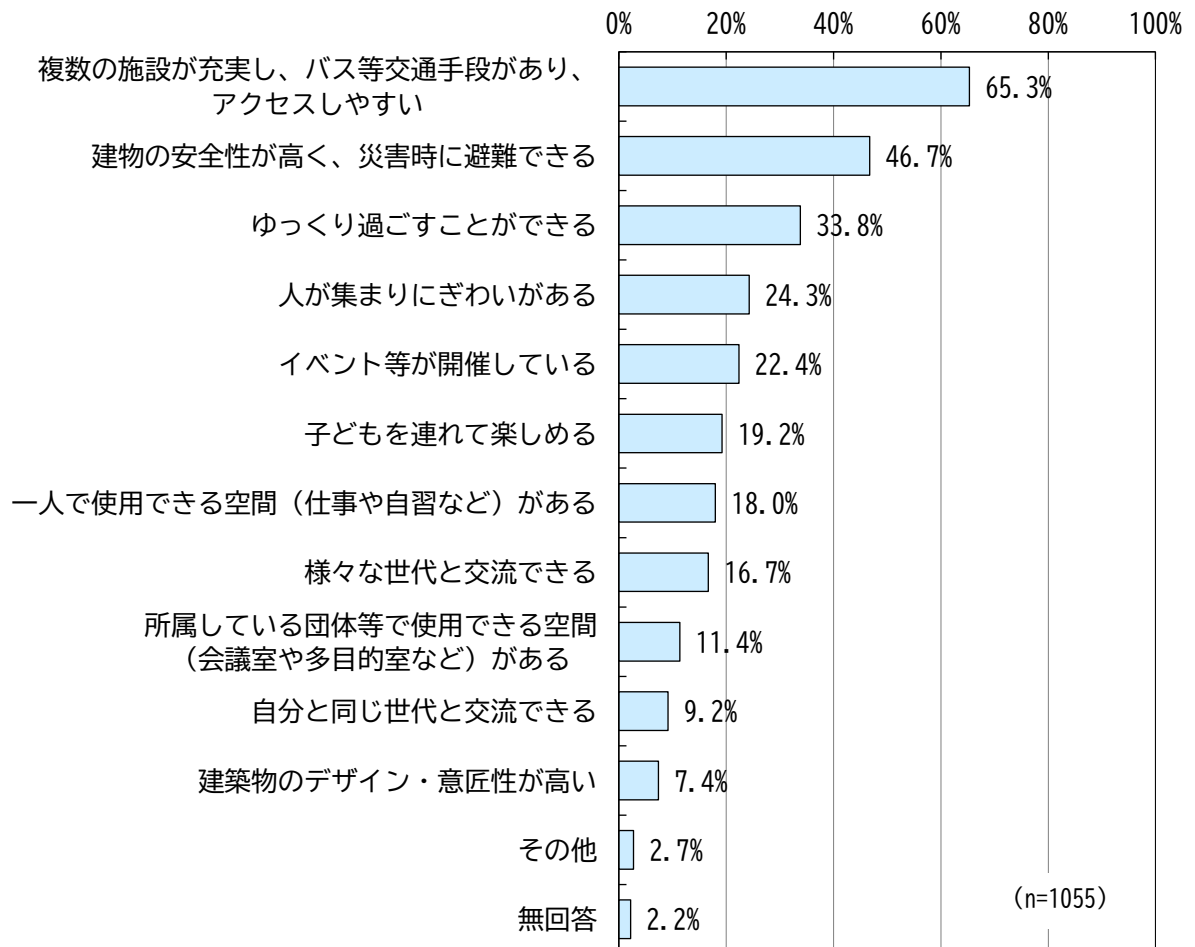


問2 Dエリアの将来像(複数回答)

Dエリアやエリア周辺が将来どうなっていれば、利用したくなるかあなたの考えに最も近いものを3つまで選んで○印をつけてください。

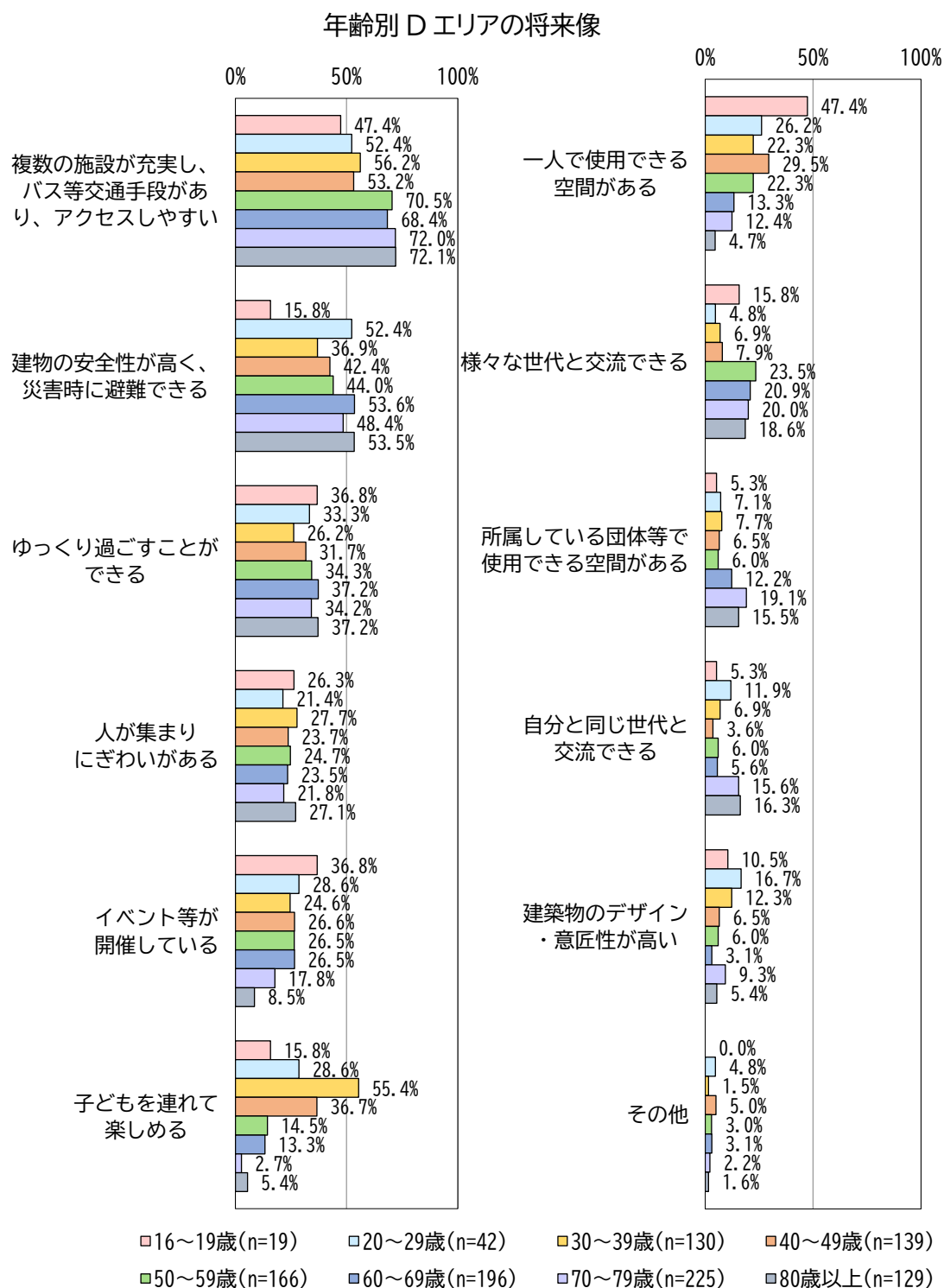
- ・D エリアの将来像は、「複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい」(65.3%,689 人)が最も多く、次いで「建物の安全性が高く、災害時に避難できる」(46.7%,493 人)、「ゆっくり過ごすことができる」(33.8%,357 人)の順となっています。

Dエリアの将来像



【Dエリアの将来像×年齢別】

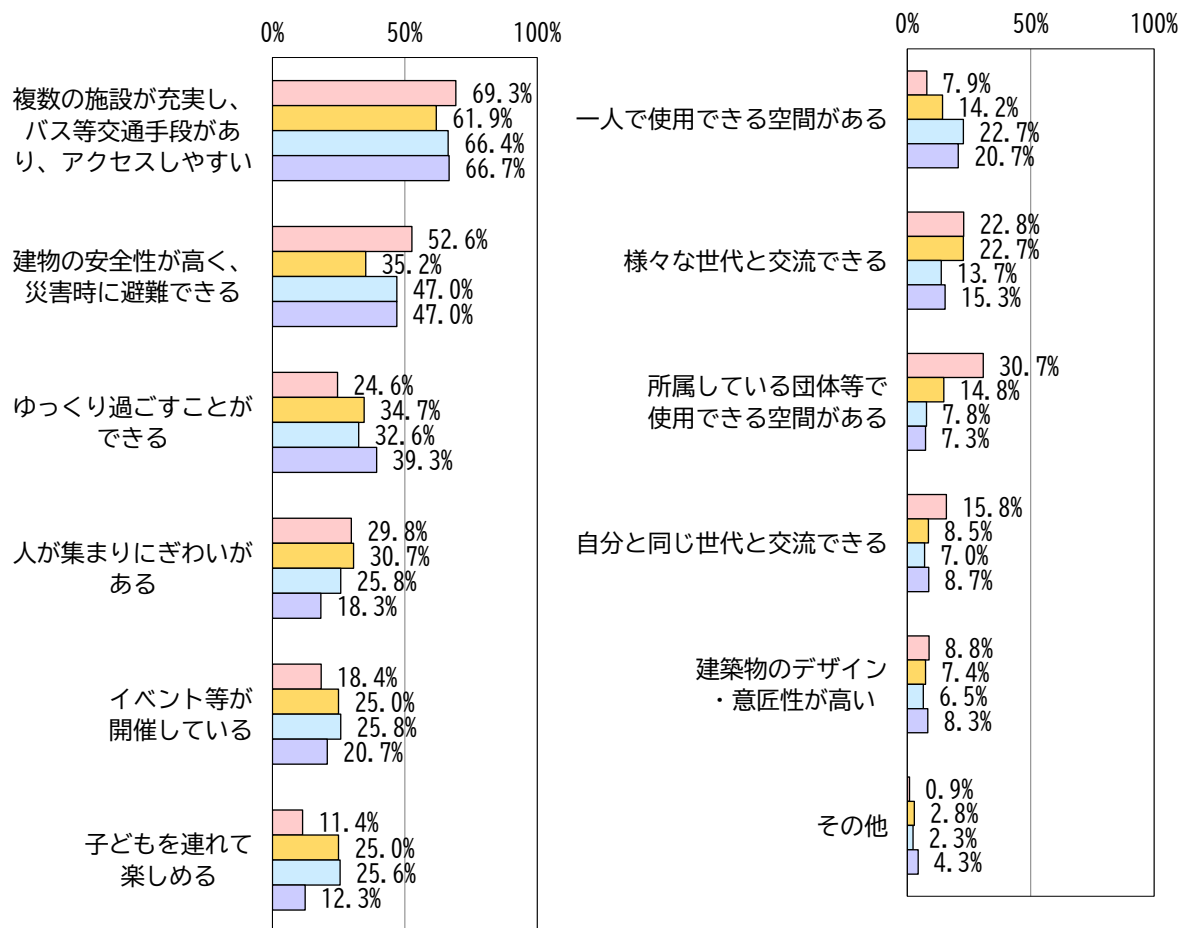
- ・年齢別にみると、D エリアの利用したくなる将来像は、30～39 歳では「子どもを連れて楽しめる」が、40 歳以上では「複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい」が最も多くなっています。
- ・また、16～19 歳では「複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい」と「一人で利用できる空間がある」が 20～29 歳では「建物の安全性が高く、災害時に避難できる」と「複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい」が同数で最も多くなっています。



【D エリアの将来像×利用頻度】

- ・D エリアの施設の利用頻度別にみると、D エリアの利用したくなる将来像は、利用頻度にかかわらず「複数の施設が充実し、バス等交通手段があり、アクセスしやすい」が最も多くなっています。
- ・また、利用頻度が低いほど「一人で利用できる空間がある」、高いほど「所属している団体等で利用できる空間がある」の割合が多い傾向がみられます。

施設の利用頻度別 D エリアの将来像

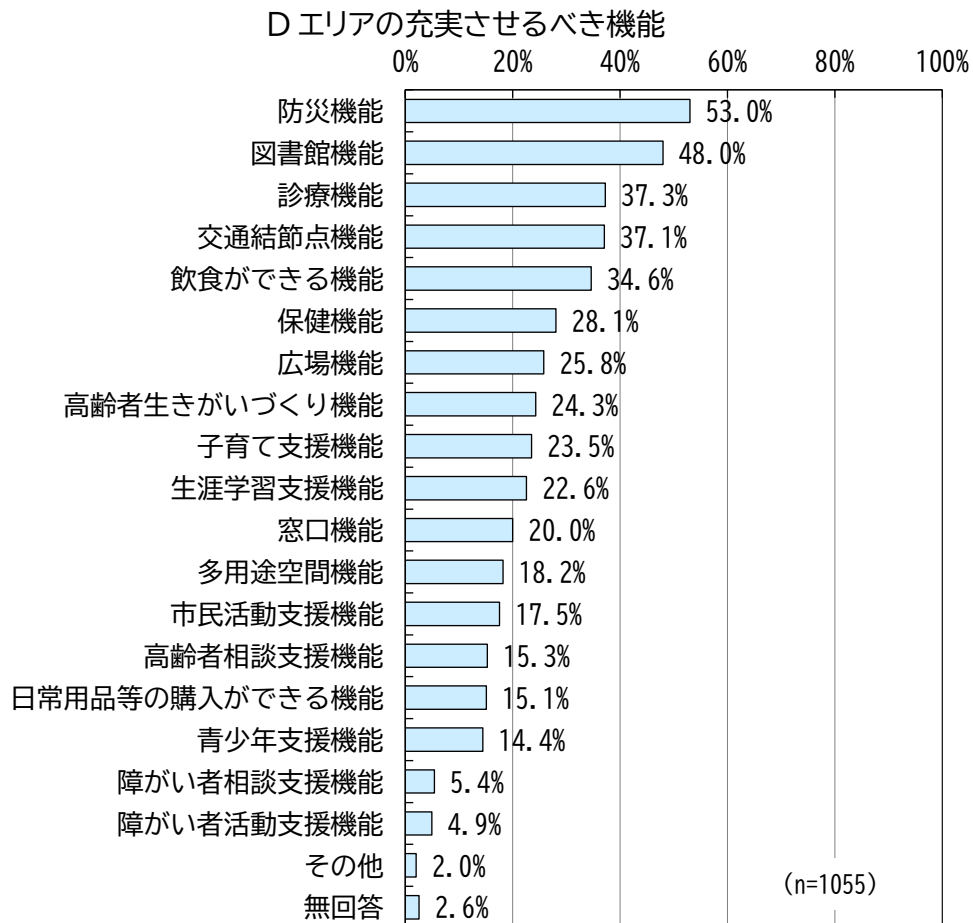


□ 週に1回以上(n=114) □ 月に1回以上(n=176) □ 年に数回程度(n=387) □ 利用していない(n=300)

問3 Dエリアの充実させるべき機能(複数回答)

今後、D エリアの取り組みを進めるにあたって、あなたが充実させるべきと考える機能は以下のどれですか。あなたの考えに近いものを5つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- ・D エリアについて今後優先させるべき機能は、「防災機能」(53.0%,559 人)が最も多く、次いで「図書館機能」(48.0%,506 人)、「診療機能」(37.3%,393 人)、「交通結節点機能」(37.1%,391 人)、「飲食ができる機能」(34.6%,365 人)、「保健機能」(28.1%,296 人)の順となっています。

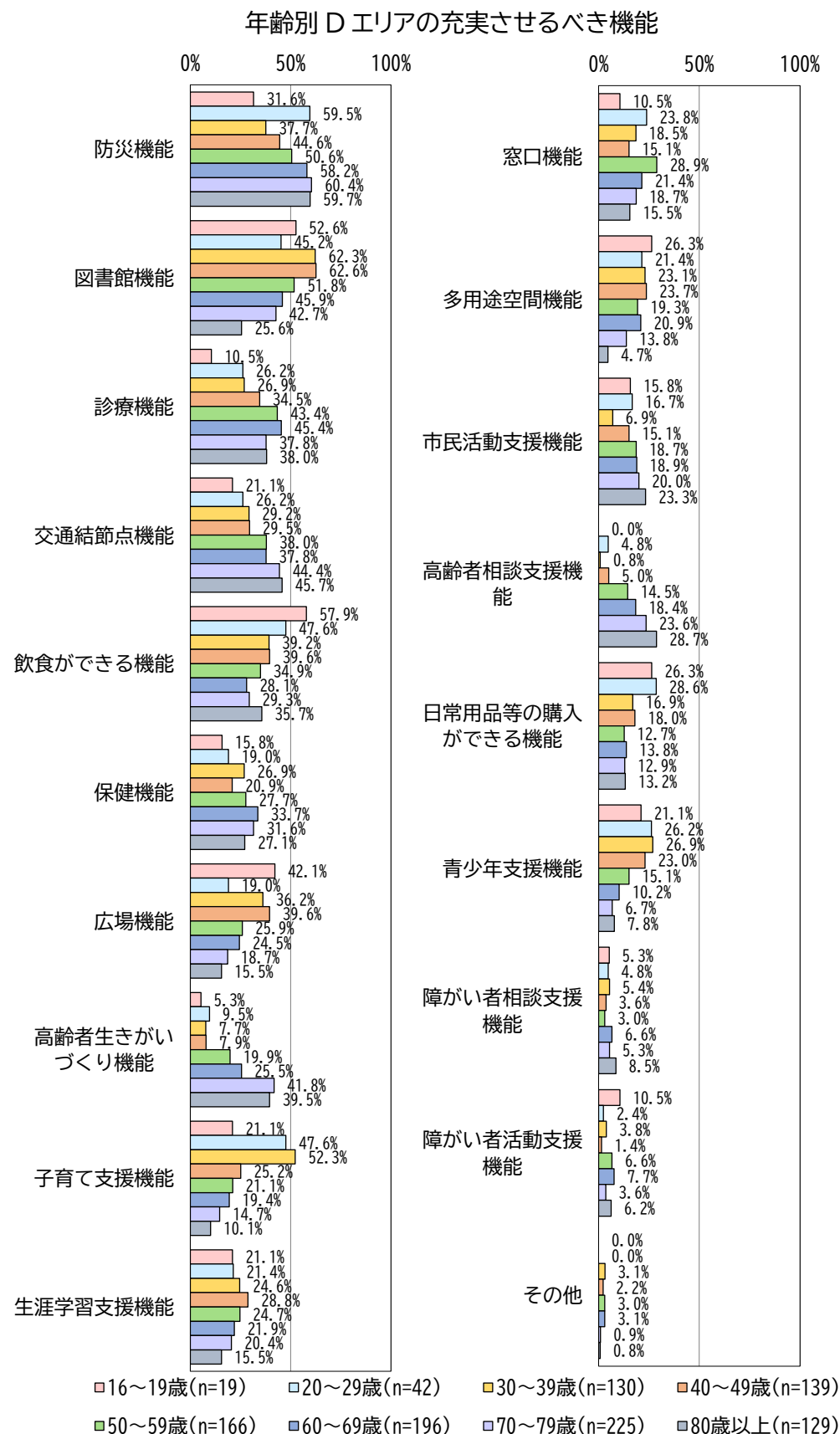


機能のイメージ

機能	機能のイメージ
防災機能	災害の避難所や防災活動に活用する場など
図書館機能	図書の貸出、閲覧スペースなど
診療機能	休日診療、クリニックなど
交通結節点機能	バス、タクシーなど交通手段の接続が行われる乗り換え拠点
飲食ができる機能	カフェや食堂など
保健機能	健康相談や予防接種など
広場機能	芝生や花壇、ベンチや、散歩や休憩、屋外での活動ができる場の提供など
高齢者生きがいづくり機能	交流やクラブ活動、健康増進の場の提供など
子育て支援機能	子育て相談、乳幼児の遊びの場、親同士の交流ができる場の提供など
生涯学習支援機能	相談、講座の実施、情報提供や自習室等の場の提供など
窓口機能	各種手続きや行政相談
多用途空間機能	イベント等の開催できる空間など
市民活動支援機能	相談、活動の場、交流の場の提供など
高齢者相談支援機能	介護、生活などの相談
青少年支援機能	放課後の居場所、学習機会の提供など
日常用品等の購入ができる機能	コンビニやスーパーなど
障がい者相談支援機能	生活、くらし、福祉サービスの利用などの相談
障がい者活動支援機能	活動の場の提供など

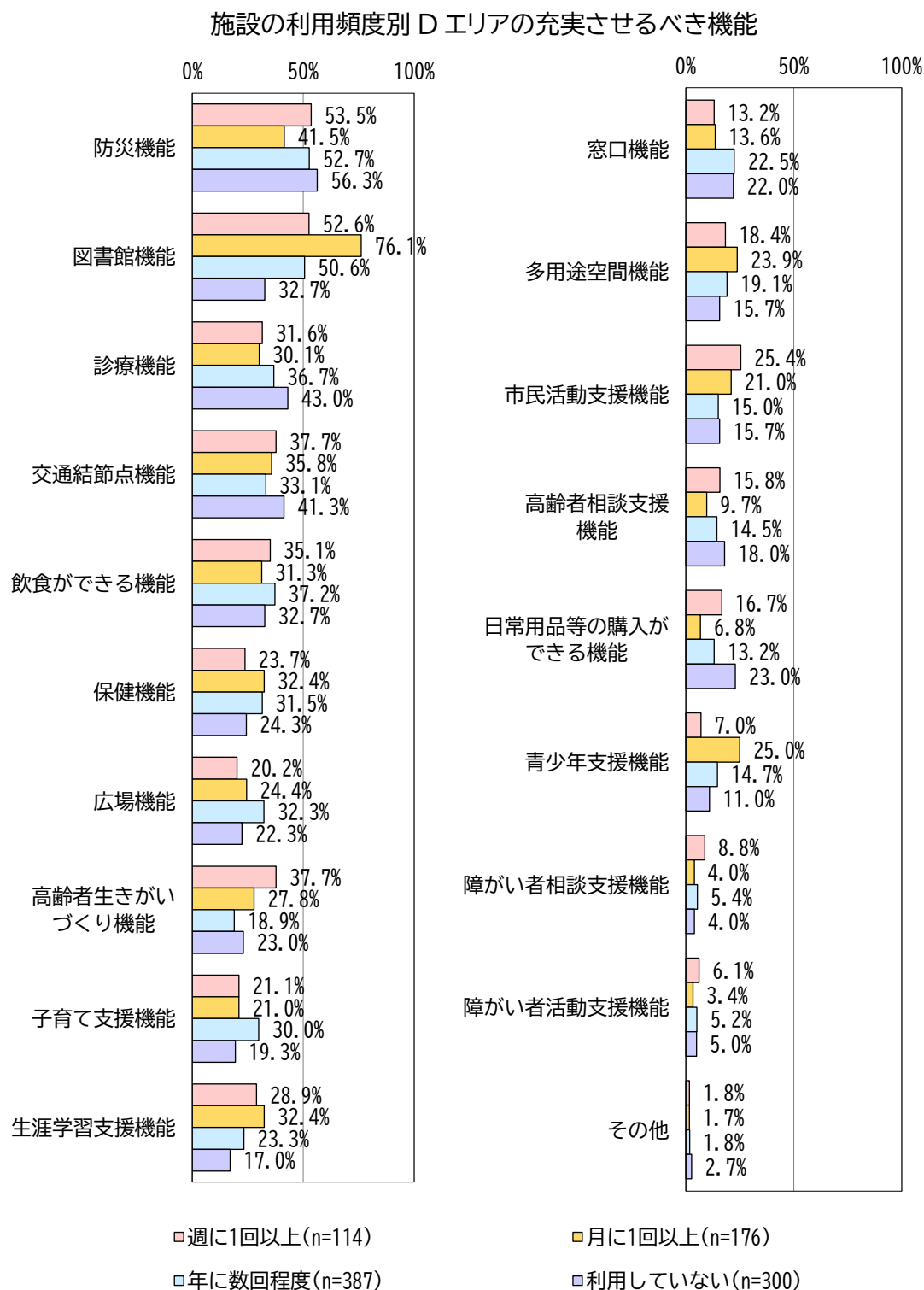
【D エリアの充実させるべき機能×年齢別】

- ・年齢別にみると、D エリアの今後優先させるべき機能は、50 歳代以下では「図書館」、50 歳代以上では「防災機能」の割合が多い傾向がみられます。
- ・20 歳代、30 歳代では「子育て支援機能」の割合が他の年代に比べ多い傾向がみられます。



【D エリアの充実させるべき機能×利用頻度】

- ・D エリアの施設の利用頻度別にみると D エリアの今後優先させるべき機能は、月に1回以上利用される方を除き「防災機能」の割合が最も多くなっています。
- ・「図書館機能」は月1回以上利用される方の回答が最も多い機能であり、過去一年間に D エリアの施設の利用がある方については、回答者の割合が多い傾向がみられます。

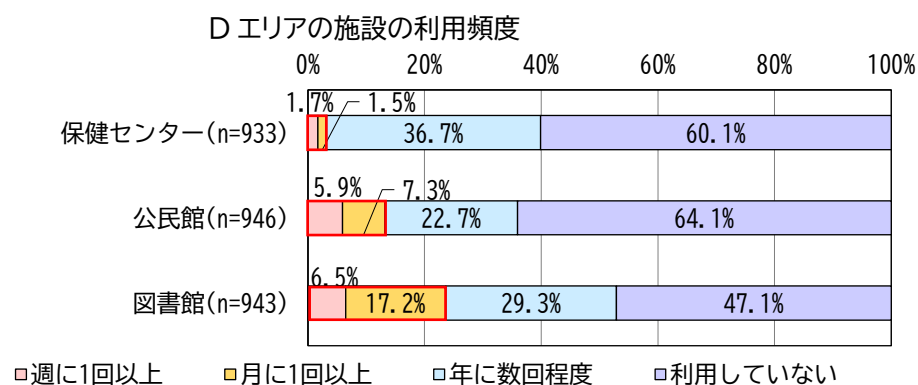


問4 Dエリアの施設の利用状況

あなたは、D エリアに立地する以下の施設を普段どのくらい利用しますか。施設ごとに「①利用頻度」から1つ選んで、番号に○印を付けてください。「①利用頻度」で「4」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選んで（複数回答可）、番号に○印を付けてください。「②利用していない理由」で「7」を選択した場合は、その理由を「③」に記入してください。

①利用頻度

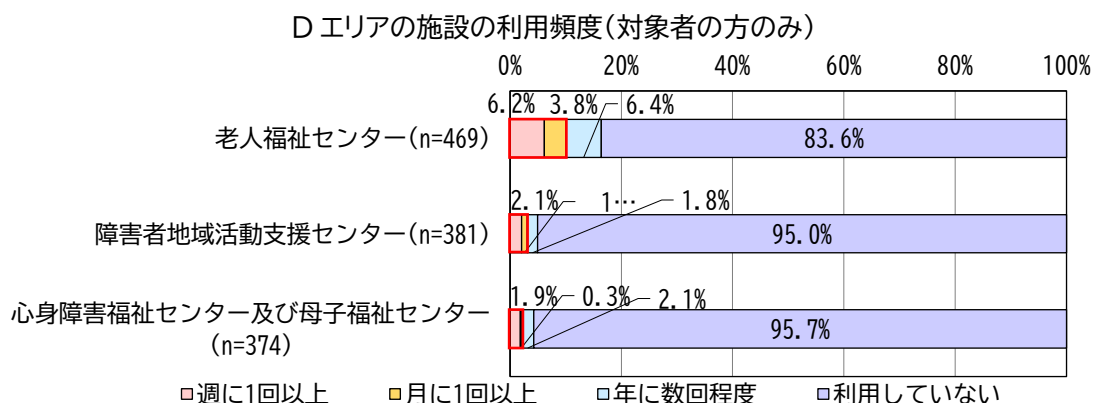
・利用頻度について「週に1回以上」、「月に1回以上」を合わせた利用頻度の高い回答者は、保健センターで3.2%（30人）、公民館で13.2%（125人）、図書館で23.6%（47人）となっています。



※無回答除く

<対象者の方のみ回答の施設>

・利用頻度について「週に1回以上」、「月に1回以上」を合わせた利用頻度が高い回答者は、老人福祉センターで10.0%（47人）、障害者地域活動支援センターで3.1%（12人）、心身障害福祉センター及び母子福祉センターで2.1%（8人）となっています。



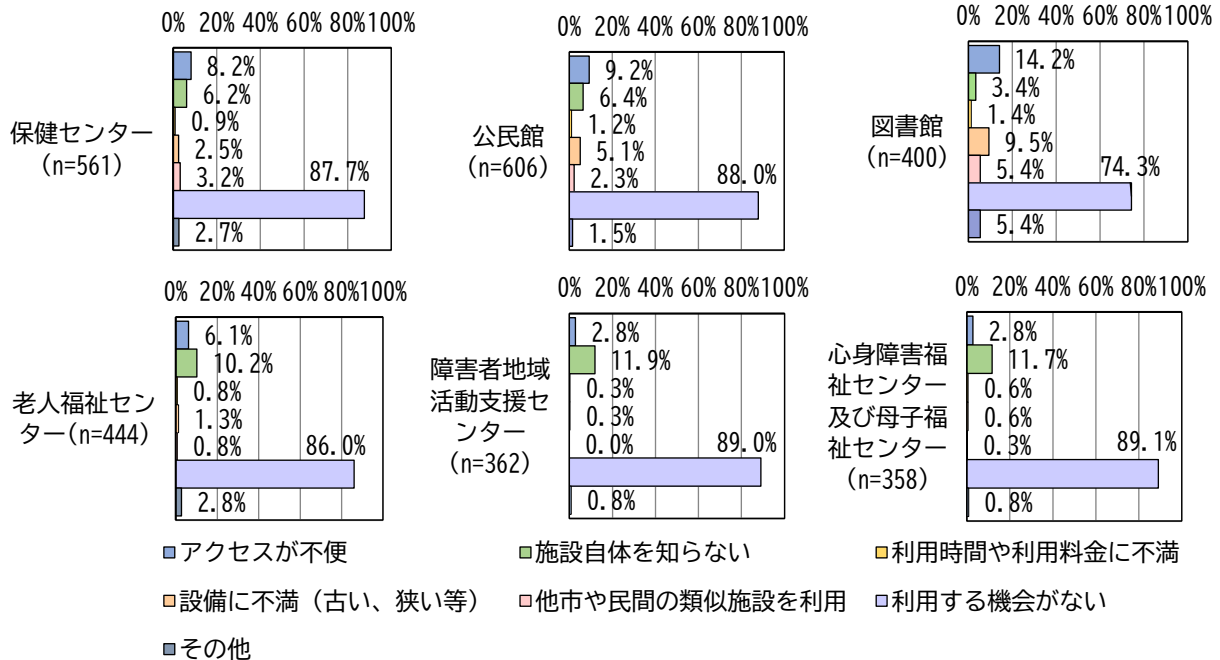
※無回答除く

※「老人福祉センター」、「障害者地域活動支援センター」、「心身障害福祉センター及び母子福祉センター」は対象者の方のみ回答

②利用していない理由(複数回答)

・利用していない理由は、「利用する機会がない」がどの施設も最も多く、次いで保健センター、公民館、図書館では「アクセスが不便」が、老人福祉センター、障害者地域活動支援センター、心身障害福祉センター及び母子福祉センターでは「施設自体を知らない」となっています。

D エリアの施設の利用していない理由



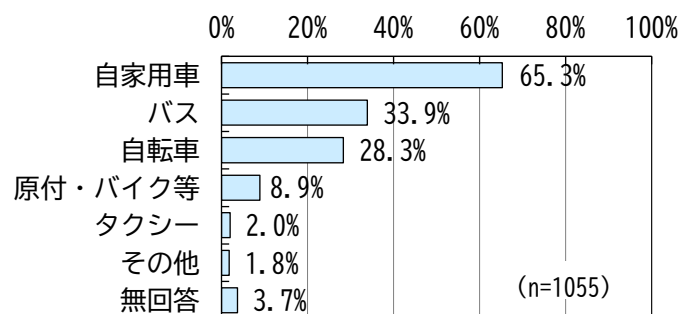
※無回答を除く

③D エリアまでの移動手段(複数回答)

D エリアまでの移動手段(徒歩以外)として使用しているもの(行かれたことがない方は想定で結構です)は何ですか。あてはまる番号に○印をつけてください(複数回答可)。

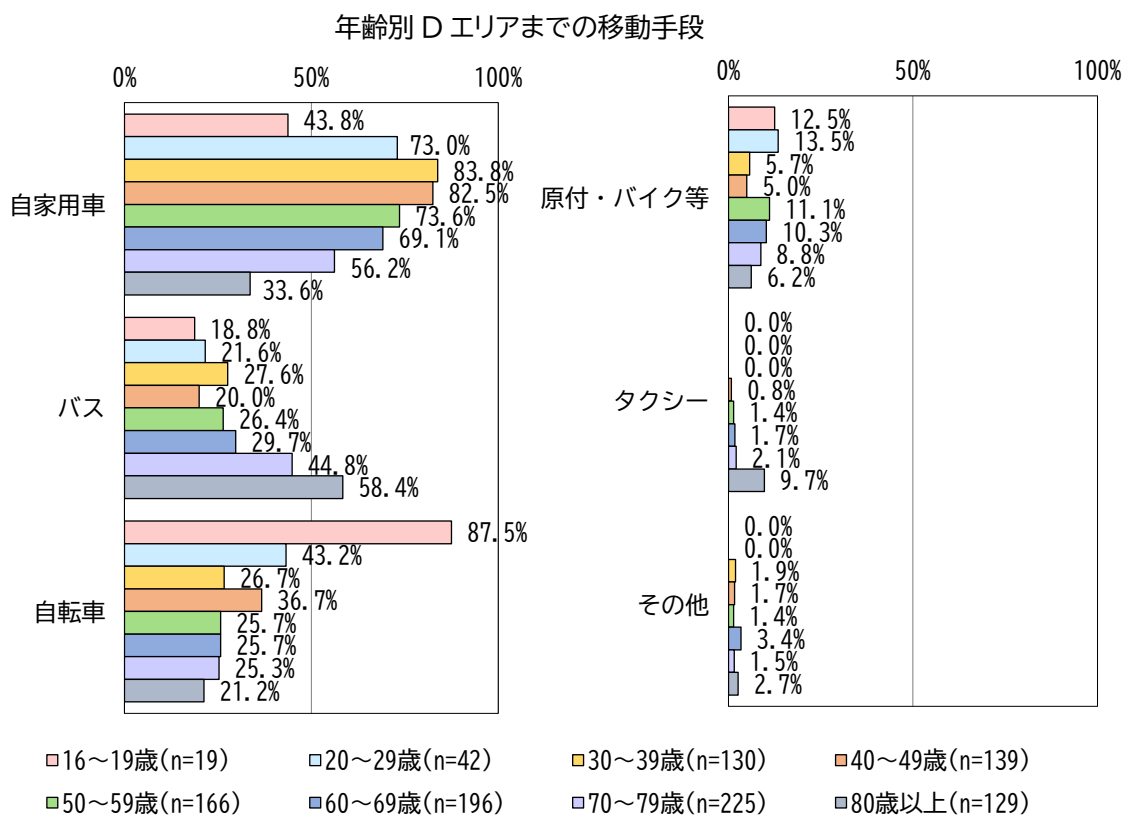
・D エリアまでの移動手段は、「自家用車」(65.3%, 689 人)が最も多く、次いで「バス」(33.9%, 358 人)、「自転車」(28.4%, 259 人)となっています。

D エリアまでの移動手段



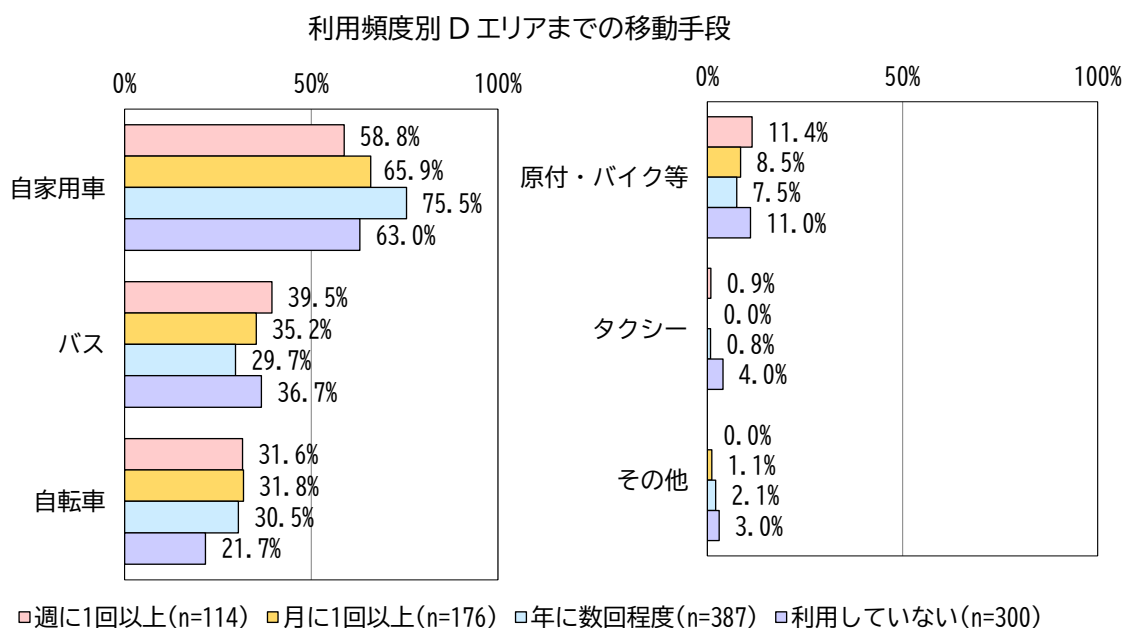
【D エリアまでの移動手段×年齢別】

・年齢別にみると、D エリアまでの移動手段は 16～19 歳では「自転車」、20 歳代～70 歳代では「自家用車」、80 歳以上では「バス」が最も多くなっています。



【D エリアまでの移動手段×利用頻度】

・D エリアの施設の利用頻度別にみると、D エリアまでの移動手段は、利用頻度にかかわらず「自家用車」が最も多くなっています。



3. 自由意見

・338 人の方から 385 件の意見が寄せられました。意見の内訳は以下の通りです。

- 公共施設のあり方について(54 件)
 - ・人が自然と集まれる場所にして欲しい/若い人や子育て世代の意見を取り入れる等
- 再編(集約・複合化等)について(47 件)
 - ・コンパクトに集約して交通の利便を図る等
- 維持管理・運営について(18 件)
 - ・平日働いている人も利用できる時間に施設を開けて欲しい等
- 交通・アクセスについて(72 件)
 - ・駐車場やバスを充実させてほしい/駅前に集約して欲しい等
- 施設の充実について(82 件)
 - ・図書館の蔵書の充実/子ども達が過ごせる場所があればいい/カフェの併設等
- 建物・設備について(44 件)
 - ・古くて暗いため明るい空間にして欲しい/階段を使わずに移動できるようにして欲しい等
- 情報発信・市民参画(16 件)
 - ・施設の機能や活動内容についてもっと情報発信してほしい等
- その他(53 件)
 - ・行政に対する要望、アンケート調査に関する意見等

自由意見一覧

No	年齢	自由意見
公共施設のあり方について		
1	70 歳代	・年齢問わず交流の場所を求む。
2	40 歳代	・公平に市民が利用できるようにして欲しい。
3	50 歳代	・公民館に度々いくが幅広い世代が利用していていい場所だなと常々思ってる。お年寄りと幼児が交流するイベントも好きです。私にとっては狭山池の次に狭山を感じることでできる場所です。新しく安全で便利な建物になってもその良さを残してほしい。
4	60 歳代	・市民や子供のための公共施設であってほしい。
5	20 歳代	・ある程度若い世代からすると、今インターネット環境さえあれば家から出なくていいぐらいの感じがあるので、楽しめるだとか1回ぐらい見てみたいとかそういう施設が欲しい。
6	70 歳代	・老人用とか子育て用とかかぎられた施設ではなく男女年齢に関係なく利用しやすい、ゆったりした雰囲気や緑や花を配した場所にして欲しい。何かに特化すれば人件、維持費がかかるのではないかなと思う。
7	60 歳代	・家族や友人と気楽に集える場所にしていただきたい。
8	60 歳代	・全ての年齢層の方々が利用しやすいようになれば、良いと思います。
9	60 歳代	・地域の人が集まりやすい仕組みを作ってほしい。建物のデザインやイベント、サロンなどの仕組みに工夫を凝らしてほしい。
10	20 歳代	・D エリアや周辺は、勾配がきつく、また、施設自体も暗い印象があるため、気軽に利用したいと考えづらい。日常の中で、気軽に立ち寄れるサービスや施設ができるとうれしい。
11	70 歳代	・子供から高齢者まで活動できる場所を充実させてほしい。
12	60 歳代	・便利で、楽しく、安価でみんなが幸せと感じられる施設の建設を希望します。
13	40 歳代	・市民にとっても、市民以外にとっても魅力ある施設を作ってほしい。こういう施設があればいいと思えるような街づくりをすべきで、人口増加にもつながる。意見交換や成功例などを集め、しっかりした案を立て、成功してほしいと思う。
14	40 歳代	・D エリアは最も活用する場ですので、コストを抑えつつ、充実したエリアになることを期待しています。
15	30 歳代	・人生のどのステージにあるか(育児世帯、高齢世帯など)で希望するところは変わるかと思います。 個人的には①皆が使える設備、②緊急度が高い、③重要度が高い(需要も多い)の順に整備頂ければと考えます。
16	20 歳代	・交通の便が良く、気軽に訪れたいという思いが溢れるような施設が出来れば良いと思う。大阪狭山市にある up っぷのような施設がそのひとつだと思います。公共施設と言うと硬いイメージを持つ人もいるかもしれないので、気軽に利用できるという点があると私も使いたいと思うような気がします。
17	50 歳代	・自然と人が集まるような空間作りを目指して欲しい。
18	40 歳代	・人が集まりたくなるようなイベントや建物への建て替えが必要かなと思う。また狭山池の魅力が全く活かされていない気がする。
19	70 歳代	・人口は減少していきます。利用者も少なくなるので、多様性を検討してみてもは。
20	30 歳代	・新しい施設、長い時間を過ごせる憩いの場となるような施設がいいと思います。泉南にある泉南ロングパークのように目の前に海があってカフェがあるようなところだと人が集まっているイメージで、ああいうところで過ごすのは良いなと私個人

No	年齢	自由意見
		人は思っています。公共施設のテーマとは離れた話になったかもしれませんが、行きたいと思えるそんな公共施設の整備を望みます。
21	80 歳以上	・若い人向けの設備を多く作っていただきたい。老人向けに力を入れても活動の場になることが少ないように思います。
22	20 歳代	・子ども関係の施設はむやみに縮小すると「子育てしにくい」と感じ、大阪狭山市の人口減少の可能性も考えられる。子を持つ若い世代としては、そこは大事にして欲しいと感じています。
23	30 歳代	・国全体としては少子高齢化の流れですが、そんな中でも少子化解消に大胆に舵を切り、人口増が続く街は複数あります。(流山おおたかの森、明石市など) 子育て世代が流入すれば町は活気付き、テナントなど民間企業の誘致も進んでいて、高齢者世帯にも活気や生きがいを与えることになります。逆に高齢者を対象にした病院、施設ばかりでは老人が増えるのみで魅力ある町にはならない、活気はなくなっていきばかりでしょう。とくに狭山は目立つ資源はなく、あるのは住宅地、住みやすい街と人のみなので、子育て世代が移住を望む住みやすい街、魅力的な街を維持して磨いていく以外にはないのではないのでしょうか。
24	40 歳代	・図書館をよく利用しますが、暗い雰囲気があるので、明るく、スタッフももう少し明るい雰囲気があればいいと思います。小さな子どもから年配の方まで幅広く集えるような施設に一新して頂きたいと希望します。又、保健センターや子育て相談、介護相談もできる施設と一緒にしてもらえると人々が集まりやすいと思います。
25	30 歳代	・もっと10代の若い子たちの意見をとり入れてはどうでしょうか？
26	20 歳代	・本当の意味での子育て支援を考えた施設の在り方を考えてほしい。学童に入れない児童が多いと聞きます。
27	30 歳代	・子供たちが集まりやすく、楽しんだり、学んだりできる場所を残してほしい。
28	40 歳代	・公共施設をなくさず、活気ある場所・町が続いてほしい。子供も大切ですが、高齢者や大人にも生活しやすい場所・町・交通にも希望しています。
29	40 歳代	・学校が荒れていなく子育てに良いと聞いて堺より転居してきました。大阪狭山市の魅力は周りの市に比べると子育てに良い環境というところだと思います。というか大学病院が泉北に移るとなった今、それ以外に正直魅力は思い浮かびません。狭山に代々住んでいる訳ではないのでよりそう思います。未就学児の居場所は保育園や幼稚園で何とでもなるし、高校生以上になると市以外の場所で過ごす事が多くなります。特に小中学生の教育や居場所の提供を重視して街作りをしてほしいと思います。只でさえ高齢化でおいちゃんおばあちゃんだらけなのに、新しい子供が入ってこなくなったら色々きつい。
30	10 歳代	・子どもや子育て世代向けの施設の充実。
31	70 歳代	・若者が利用しやすい場所にしてほしい。
32	80 歳以上	・高齢者の人口率は高いが、将来を見据えると子供や子育て世代をもっと重視し、支援する必要がある。公共施設の在り方も、この観点を重視で検討すべき。
33	40 歳代	・これから高齢化になっていくので、年配の方にも気軽に利用できるような施設を作してほしい。
34	20 歳代	・老人が増えていくことから、老人向けの施設が増えることを予想されるが、若年層の転入等を目的とした施設の取り組みが必要では。
35	40 歳代	・図書館と公民館の老朽化は著しく、使い勝手の悪さが目立ちます。子育てしやすい街、住みたい街ランキングも年々下がっている気がします。周辺市町村に魅力的な公共施設が整備されていく中で大阪狭山市だけが遅れていると感じます。図書館や公民館、保健センターなどを統合し、新しい複合建築物を希望します。

No	年齢	自由意見
36	50 歳代	・年寄り、小さい子をどうしても軸にしている感じなのが、なんだかなーって思います。
37	20 歳代	・少子高齢化進むのであれば、兵庫県の前明石市市長のように子育て支援に力を入れてみてもいいのではないかと？2番煎じがダメならまだ全国にターゲットされていない高校、大学生に向けた手厚い支援を行ってみても良いのでは？
38	60 歳代	・現役を卒業したら地域の子育て支援のお手伝いをしたいと考えています。図書館を中心に様々な年代の市民が楽しくすごせる複合施設をぜひ作ってください。
39	70 歳代	・D地区の再配置は必須です。機能的には「心の充実」を中心に、文化的生活の質向上的側面をとり入れる。ランドスケープをしっかりと計画することも大切。
40	80 歳以上	・本市は公共施設等は充実しており、住みやすい町であると感じている。しかし、市の在り方を変えざるを得ない状況であるという認識があり、公共施設も同じで、その時の既得権にとらわれず、実態の伴ったニーズの把握が大切。
41	60 歳代	・立派な箱モノを作っただけで、その中身は最低限の質の保証に留まってもったいない。長期的なビジョンをもたず、本気で市民のことを考えているように感じられない。
42	40 歳代	・施設を複合化する際に、「高齢者」「障害者」「母子・父子」などと分ける必要があるのかと思う。高齢者や障害者、子供が利用しやすい施設はすべての人にとっての利用しやすさにつながるでしょうし、様々な人が自然に交流したり、当たり前と同じ空間で過ごせることが多様性の尊重やコミュニケーションの促進につながると思う。
43	60 歳代	・利用したくなるような魅力ある施設を期待します。
44	60 歳代	・身の丈にあった、こじんまりとした施設であること。
45	30 歳代	・サービスの維持？向上の為に複合化や集約化を行うのは当然の事だと思います。人口減少や生活様式の変化に伴って、公共施設も変化していかないといけない。既存の考え方にとらわれず新しい公共施設を目指して欲しい。これから先の利用者である若者の意見を取り入れて行くべき。
46	60 歳代	・人口減少がますます進む中公共施設も集約化する必要があると思いますが、今住んでいる市民はもとより、これから住もうと考えている人が、快適に使える様な施設があれば良いと思います。また、高齢者から小さな子どもまで、世代間が交流できるイベントスペースがあればなおさら良いです。これはまさに民間活用によって成し得ることができると思います。
47	20 歳代	・普段から利用している人が優先という風土が若干感じられる（特に利用者から）ので、初めて利用する人や、たまにしか利用しない人でも、気兼ねなく利用できる公共施設が増えれば良いと思う。
48	40 歳代	・大阪狭山市のランドマークとなるような施設が出来上がることを期待しています。
49	30 歳代	・公民館など長年使用している団体利用者が多く、新規で使いたいと思っても使いづらい。そのため、誰でも気軽に使える施設を作ってほしい。
50	50 歳代	・今後整備されていくときは、利用者の目線はもちろんのこと、利用しない者の目線も忘れずに、両者をしっかり意識して進めていただきたいです。
51	60 歳代	・図書館、公民館等色んな世代が利用でき、施設前ではお店や野外ライブも楽しめるような、市民はもちろん、市外からも来てもらえるような、賑わいスポットとなしてほしい。
52	60 歳代	・平常時に使用する公共施設を考えるより、災害時に、高齢者、障害者、子ども達が遠慮なく避難して使用できるような場所を作っておいて頂ければ良いと思います。高齢者の中には子どもや、障害者、障害児が苦手な方もいらっしゃるし、子どもを持つ方も、障害者の方も肩身の狭い思いをする事なく、避難生活が送れ

No	年齢	自由意見
		る場所があれば、それが平常時も過ごしやすい場所ではないかと思います。そういう場所を作って頂きたいです。
53	50 歳代	・人口は減少傾向＋高齢化＝税収の減少および一人の税負担額増、大型医療機関、大型商業施設、企業誘致が難しくても、流動人口の増加が期待できるか、市の経済活性化に繋がるか、公共施設やあり方すべてにおいて、常にそれらをセッットに考えられることを期待します。
54	70 歳代	・子育て世代の若い市民が求めている施設であることから喜ばれるものと考ええる。子育てしやすいまちとして高く評価されている本市の魅力を一層高めることができるのではないかな。
再編(集約・複合化等)について		
1	60 歳代	・人口減、管理大、全て残す必要なし。安全、安心をキーワードとして1点集中管理するような方向性が前提。
2	50 歳代	・大阪府下でも住みやすい街に上位にランクされており、今後も住みやすい街として、ランクを維持していただけることを希望します。行政サービスや条例等もあり、市民の意見は反映されにくいと思っているが、今までのアンケート通り施設の利用者が減少するので、施設及び市の組織の複合化と機能集約を進めていただき建物を維持するのでならば、新たな機能や現行の市役所のセクションを移設させることはできないでしょうか。
3	40 歳代	・現状で機能の必要性が低いものは整理しなければいけない。でも全て赤字を解消するのは難しいなかどうしても必要な施設もあるはずなので資金繰りをどうするかに尽きるかと思います。
4	70 歳代	・とてもバランス良く配置されていると思います。施設複合化により図書館が広く明るくオシャレになってくれたらうれしいです。
5	40 歳代	・災害時に役立つ場所であってほしい。(耐震や食料の備蓄、地下シェルターなど)
6	60 歳代	・ほとんど利用されない公共施設は閉館も視野に入れるべき民間企業を誘致するなど、緑に囲まれた公園のおしゃれなカフェなど、若者が集まってくるような場所が必要では。
7	60 歳代	・無駄が多いので、もう少しコンパクトシティにして、駅近くにすべての機能を集約する。人口減少に対応していかなければいけない。
8	60 歳代	・利用の少ない施設は廃止・統合させ、交通アクセスの利便性を図る。
9	50 歳代	・市内のみで検討するのではなく、人口減少の問題もあるので、広域・周辺市町村との検討もお願いしたい。
10	40 歳代	・エリア A に住んでいますが、公民館などの施設には行きにくく、美原の方の図書館などが利用できるようになる。さやりんポイントなども使える場所は普段は買い物をしない場所なので、エリア A でも使いやすい施設等を考えてほしい。
11	80 歳以上	・施設の複合化を図り、効率的な運営に努める。
12	40 歳代	・一つ一つの建物が区切られ、入りにくい印象がある。公共施設複合化は良い案だと思います。狭山は他市と比べるとアピールポイントが少ないので、目立つ施設は必要です。
13	80 歳以上	・D エリアに関しては、全てを一つの施設にまとめたコミュニティセンターとなれば、良いと思うが、理想を言えば、各中学校区ごとに市役所等の出張所機能や図書館・公民館機能を併せ持つセンターがあれば、子供や高齢者も利用しやすい。
14	40 歳代	・図書館と公民館の老朽化は著しく、使い勝手の悪さが目立ちます。子育てしやすい街、住みたい街ランキングも年々下がっている気がします。周辺市町村に魅力的な公共施設が整備されていく中で大阪狭山市だけが遅

No	年齢	自由意見
		れていると感じます。図書館や公民館、保健センターなどを統合し、新しい複合建築物を希望します。
15	30 歳代	・どの施設も古いなど感じる。人口が減っていく中で、使ってもらうための工夫や集約化は必須。図書館等の施設については巡回バスがあるが、運行数が 1 時間に 1 本のバスに乗っていくかと言われると疑問だ。その他の施設に着いても同様で結局交通手段か車になる。高齢者が増え、免許の返納が増える中でその施設は使われるのか。使われない施設への税金及び市の予算を投入するのは良くない。民営化や集約化をして、土地を手放すのも 1 つであると考え。当然なくては困る施設や利用者がいることは承知だが次の世代の死産になるものは片付けていくべきだ考える。行政と言えどメリットとデメリットを天秤にかけしっかりと管理を頂きたい。
16	40 歳代	・小さな市なので、一か所に集約できるものはしたら利用しやすくなるのではないかな。
17	50 歳代	・公民館と図書館は同一の建物にある方が利用しやすいのではないかな。
18	70 歳代	・D 地区には公共施設が多種存在し、休日に催事があるときは、人も集まるが、平日は閑散としている感じがあるので、各施設の利用状況を調査し、再編の検討も必要なのかなと思う。
19	30 歳代	・保健センターや図書館などの公共施設がまとまっているので利用しやすい。
20	70 歳代	・D エリアは、生活の一部になっているほど、私にとっては必要な居場所です。その場所が短期であっても、空白になることは考えられません。スムーズな移行ができるように、切にお願いします。地活「さつき」も、障害を持つ人たちのかけがえのない日中活動の場であり、存続・継続を希望します。「アプリコットホーム」もある意味で、地域の福祉活動に貢献してきたのではないかと、自負しています。その名前も、建物もなくなることは考えられません。
21	60 歳代	・D エリアの再編に関して、賛同できる部分が多いのですが、D エリア内にある公的施設以外(民間 NPO 法人)の施設に対して、配慮をお願いします。
22	50 歳代	・施設を集約して統合施設にして、できれば大阪狭山市駅や金剛駅に隣接させて、利便性を上げて欲しい。
23	30 歳代	・老人、福祉、障害支援センターなどは建物をまとめたらいと思う。空いた建物で子供の放課後などの居場所を作ってほしいです。
24	30 歳代	・吹田市では庁舎の一部を起業家(飲食店)のためのチャレンジショップとして活用しています。今回の D エリア再配置検討時に、同様のチャレンジショップ導入を試みてはいかがでしょうか。期間限定で飲食店へのチャレンジ機会を設けることで、制度利用者の開業支援になるだけでなく、飲食店を利用したい市民が公共施設へ訪問する機会も増えると思います。また、出店者から施設使用料を徴収することで、少しではありますが市の財政補填にもなるのではないのでしょうか。
25	30 歳代	・今回の再編成エリアではありませんが、市役所は D エリアに移転してもいいと思います。あれだけ駅から近い利便性の高い場所に市役所と中学校が本当に必要なのか疑問です。両施設を移転させ、駅前を整備(ロータリー設置、大阪狭山市駅北側の改札増設または上下線をつなぐ自由通路設置など)し、一般企業にスーパーやマンションを建設してもらうことで転入者増加と駅前の安全確保につながると思います。私の周囲に高野線沿線への引越を検討している他市在住の方がいますが、大阪狭山市は駅前に大きなスーパーが無く、徒歩圏の買い物が不便な為、候補から外れるという意見もあります。一部エリアの改修のみに拘ると結果的に他エリアの将来性が見落とされることになる為、多面的な検討を何卒お願い致します。
26	30 歳代	・横方向に広いと移動が大変。保健センターからさつき荘まで距離がある。一つのビル?にまとめ、縦方向にエレベーターで移動できたら、複数施設利用の際に、そんなに歩かなくていい。玄関や廊下なども共有できるので節約にもなる。
27	30 歳代	・D エリアの支援センターと、役所周辺にある支援センターの違いがわからず、点にしているメリットがわからない。子育て支援類のセンター、介護福祉関係のセ

No	年齢	自由意見
		ンター、などカテゴリーごとに一つの施設にまとめた方が利用しやすく、まとめて相談や利用がしやすくなると思う。
28	80 歳以上	・施設の種類の細分化されて、わかりにくい。施設の機能を集約して、例えば、「健康・福祉施設」とし、老人健康・老人福祉、障害者の健康福祉を一括して扱うようにすれば、どうか。
29	40 歳代	・地域によって人口が偏っており、以前から問題となっている学校の校区を考える必要もある。学校の学力レベル、子供ののびのび活動の差が生じている。
30	40 歳代	・東小、狭山中の生徒が多すぎる。
31	50 歳代	・小学校の生徒数が偏りすぎているため、校区にこだわらず、行きたい学校に行けるような制度をつくるか、校区の見直しをする。
32	50 歳代	・小中学校を、例えば、旧帝塚山学院大学の敷地に一貫校としてまとめ、市全体にスクールバスを走らせて、集中させてはどうか。
33	70 歳代	・イオン金剛店が八月に開店するそうですが、それに図書館や公民館があればいい。
34	60 歳代	・数値目標の令和37年度はもっと早期な時期設定が望ましい。改修や縮小を含め廃止施設目標を明確にすべきである。
35	50 歳代	・本市の規模に見合った施設にすべきでは。今後の負担とのバランスが必要では。
36	60 歳代	・老人福祉センターを含む複合化した施設を建設し、現在のセンターを取り壊してほしい。
37	70 歳代	・工事期間が長くなると思いますが、どうか別の場所の提案を希望します。
38	70 歳代	・再配置については空白のないように。
39	70 歳代	・公共施設はできるだけ場所を集約し、長期的に計画を立案し、土地の確保を進めるべきである。大阪狭山市は道路整備を含む長期都市計画がない。
40	50 歳代	・必要な施設は残すまたは増やすべきだが、あまり必要でないまたは利用頻度が少ない施設は縮小または無くす方向で進めて欲しい。
41	50 歳代	・今回対象から外れている施設でも、今後再配置される場合は、現状を詳細に把握して、施設側、市民側の利便性や交通アクセス、また、他の施設、他の施設利用者との相乗効果の関係性も踏まえて、再配置の検討をお願いしたい。
42	30 歳代	・人口減少、少子高齢化、税収の減少等将来起こりうる課題を見据えて、取り組みを進めてください。今熊エリアに複合施設を建設することは、良い取り組みだと思います。他のエリアも今後の社会情勢の変化を的確に捉え、検討を進めて行ってもらいたいです。
43	40 歳代	・人口減少が進む中、現在の規模の公共施設は必要ないのではないかと。一部の利用者のために現在の規模等を維持するべきではない。また、公民館については受益者負担の原則をもう一度検討するべき。施設を再編成するのであれば、考えるべき事項ではないでしょうか。
44	60 歳代	・市役所も同じエリアに移して現在の駅に近い場所を売買もしくは賃貸にすれば良いのではないかと思います。
45	30 歳代	・将来を見据えて、持続可能な形での建設、運用を望みます。
46	30 歳代	・公民館、資料、図書館、福祉センター、保健センターを一つの大きなビルに集約してください。内装もおしゃれに大阪狭山市民が何もなくてもおしゃれでぶらっといけるような場所にして欲しい。予算的にも集約して、大きい建物を一つどんと作るほうが安く済む。河内長野の図書館とかと差がありすぎだと思います。

No	年齢	自由意見
47	30 歳代	・将来的に息子を狭山中に通わせる予定ですが、施設が古く、教室の数も足りていない。校庭も広いと聞きました。通学距離でいうと、三中の方が近く、教室にも余裕があるらしいので、親としては、正直、三中に通わせたいと思っています。生徒数に合わせた学区編成か、もしくは狭山中の校舎立て直しを希望します。
48	30 歳代	・南第三小学校を市全域から就学可能とするということですが、校舎の安全性や耐震性は保証できているのでしょうか。特に人数が少ないからという理由だけで上記のような施策を打ち出しているような気がします。南第三小学校を始め小中学校の大規模改修を行った上で、そのような取り組みを打ち出していきたいと思います。
維持管理・運営について		
1	50 歳代	・公共施設を利用したい（生涯学習や健康維持、コミュニケーションなど）と思いますが、働いている人が利用しようとしても平日の午前中や午後と言った限られた時間帯で利用できない。様々な世代が利用し、発展して住みやすい楽しいまちづくりをしてほしい。
2	50 歳代	・習い事とかイベントがあっても夕方から夜にかけてではなく残念です。
3	70 歳代	・公共施設に金をかけるくらいなら市民税を減らせてくれ。
4	70 歳代	・各施設職員のサービス・対応にムラがある。管理会社が違うので、統一できないのか。
5	70 歳代	・日本全体が人口減少になる。本市もその影響が既に予測されている。ムダをせずに公共施設を有意義、効率的に使うことを考えて欲しい。行政も経営が肝腎。※市内循環バスの泉ヶ丘延伸はムダ、南海バスだけで十分。
6	40 歳代	・近隣の地域から狭山池や博物館・図書館などを利用されるときは駐車場を有料にしてほしい。または、施設利用料金を設けてほしい。
7	50 歳代	・講習会には参加したいと思うが、心惹かれるものがない。例えば、外国の方と交流しながら英会話を学ぶ。楽器を学ぶ。ヨガや体操の日数・時間帯を増やしてほしい。
8	50 歳代	・さやかホールでのイベントチケットがネットのみとなり、ポスターなどもなくなりました。ネットが使える方はいいが、やはり少しでもホールで販売してほしい。
9	40 歳代	・市役所の営業時間について、土日祝日の～午後九時を検討願いたい。
10	30 歳代	・各学校(小学校や中学高校)でも課外活動の提供場となれば、学生も施設の事がわかり、将来利用者も増えるのではないと思う。
11	40 歳代	・今我慢できるのは池の桜だけ。他市からは駐車料金を取るべき。
12	70 歳代	・狭山池の駐車場について、桜の季節だけ料金を頂き、狭山池の運営に使う。
13	60 歳代	・狭山池の駐車場は有料にして、その分を整備費用として使用すべき。
14	40 歳代	・狭山池は桜の季節や池祭りのとき、賑わうので市の団体が露店を出し、収益の一部を市の財源にできないのか。
15	70 歳代	・さやかホールは今まで通り、市で運営してほしい。
16	60 歳代	・元々人が住まなかった場所への移民ニュータウンの割合が多い中、隔たった公共施設の無料使用があるように思います。一部の人の遊び場にならないよう適正利用料を徴収し、当然施設は定期的修繕があるものとして、経営感覚を持った施設運営、施設建設をしてほしい。警察、消防、ゴミ処理等市の主要機能を市単独として動いておらず、委託が多く緑化計画も人工芝が誇らしげに語られ、大手チェーン飲食店がくるのが良いこととする風潮は、市として存続すること自体がいいのかなあという気がします。
17	70 歳代	・青少年活動の団体利用料金を安価に。

No	年齢	自由意見
交通・アクセスについて		
1	50 歳代	・市役所へのアクセスが幾分悪いように感じる。
2	30 歳代	・保健センターに自家用車でないと行きづらい。
3	40 歳代	・コロナ前までさやりんバスで1時間かけて図書館へ毎週通っていました。坂や細い道が多い為、自転車で行く事は難しいです。
4	70 歳代	・休日診療の場所の考慮をお願いします。
5	60 歳代	・使いやすくアクセスしやすい施設をお願いします。
6	70 歳代	・移動が便利であれば、行ってみようと思う。
7	60 歳代	・D エリアは交通アクセスが悪く、C エリアに機能移転が望ましい。
8	70 歳代	・今は運転していますが、D地区迄出掛けるのがコミュニティバスでは時間がかかりすぎて無理になるのではと思います。図書館は利用したい。
9	80 歳以上	・すべての公共施設がニュータウンに集中している。もっと近ければ、行きやすいが。
10	60 歳代	・D エリアは、住んでいるところから遠く利用していない。コロナワクチン接種で保健センターに行ったことがあるが、年老いて車に乗れなくなると利便性も悪く、ますます、利用価値はなくなると思う。
11	70 歳代	・図書館や老人福祉センターが近くにあれば、もっと利用したい。
12	70 歳代	・施設へのアクセスが悪い。
13	70 歳代	・図書館・公民館等は外観も古く、また、中心から遠く、坂が多い。今は自転車で行けるが、高齢になると行けなくなる。分室を数か所作してほしい。図書の受け取り・返却ができれば、本館に行く必要がなくなる。
14	80 歳以上	・高齢(九十歳以上)の母に説明しながら、代筆しています。今後、利用の可能性がある自分(六十歳代)にとって、保健センターの駐車場からのバリアフリーを希望。歩行に難がある場合、バスのステップの段差が困難になり、利用不可となる。詳しくわからないが、南花台で乗り合いタクシー的なものが始まっているらしいので、バスより乗り降りしやすい車を安い価格で利用できるようになれば、通院にも便利でありがたい。高齢者の免許返納の対策としても有効ではないか。
15	50 歳代	・穏やかな自然があるので、住んでいるが交通の利便性が低調。
16	50 歳代	・アクセスの不便さでなかなか利用出来ていない。
17	30 歳代	・アクセスがしやすいことは利用者の確保で最も重要なポイントかと思いますので、その点を考慮頂くのが良いかと思います。実際のところさやりんバスでは、妻と子どもの移動において助かっています。
18	60 歳代	・公共施設への交通アクセスを充実していただきたいと思います。
19	70 歳代	・老人福祉センターの前に循環バス停を設置してほしい。あそこは坂があって歩くのがしんどい。
20	60 歳代	・循環バス、陶器山通り、第七小学校～コミュニティセンターの急坂にバスが無いのが大変不便です。
21	30 歳代	・金剛駅へ行くバスが欲しい。本数も増やしてほしい。
22	30 歳代	・バスのルートが様々あるのは有り難いが、バス停の整備もしてほしい。子どもや高齢者が待つには危険が伴う場所が多い。
23	50 歳代	・さやりんバスの乗り継ぎするときに待ち時間が長い

No	年齢	自由意見
24	80 歳以上	・100円バスは有り難いが、30分に一回になったらうれしい。
25	70 歳代	・さやりんバスを30分に一回にしてほしい。
26	80 歳以上	・市の循環バスの停留頻度を増加させてほしい。(福祉センター前)
27	70 歳代	・亀の甲交差点から国道310号線に南海バス、もしくは循環バスを走らせてほしい。
28	80 歳以上	・さやりんバスを利用したいが、自宅から D 地区に行くバス路線がないので、ぜひ、作ってほしい。
29	70 歳代	・現在、車で連れて行ってもらっていますが、主人も高齢で車に乗れなくなることがよそうされるので、さやりんのバスを利用させていただきたいと思います。また、バスの本数についても増やしてもらいたい。
30	60 歳代	・循環バスは継続してほしい。
31	60 歳代	・近大病院が移転するので、循環バスを泉が丘駅まで伸ばしてほしい。
32	40 歳代	・放課後のクラブ活動拠点を市内各学校や D エリアに作り、子ども達が学校前からさやりんバスですぐに移動でき、クラブ活動終了時間にあわせてさやりんバスで帰宅できると親の送迎も楽になり、バス利用も増えると思う。
33	50 歳代	・車に乗らないので、図書館など行きたくても行きにくい。循環バスの乗り換えなしで行ける市役所周辺にある方が便利だと思う。循環バスの利用客が多い時間帯やエリアなどは 30 分に一本あればまだ行きやすいかも。
34	30 歳代	・歩行者用の道が狭い。
35	40 歳代	・駅前の整備を早くしてほしい。無人駅で通学路にもなっており、交通量も多く、死角が多く、いつか大きな事故が起きる。
36	30 歳代	・駐車場から車道を渡らないといけないのが不便。
37	30 歳代	・金剛駅へ行く道が狭く、危険。310 号線の歩行者の歩道が狭く危険。
38	20 歳代	・歩道のタイルの凹凸があり、公共施設に行くまで、障害者にとって妨げになっている。
39	50 歳代	・狭山駅付近に居住していますが、道路幅が狭く、とても危険です。改善をお願いします。
40	80 歳以上	・図書館までの歩道がガタガタで車いすでは通りにくい。おわり坂の交差点の青信号が短いように感じる。
41	50 歳代	・高齢者や障害のある方、ベビーカーが通りやすいように車が出やすいようにと歩道が斜めにしていますが、あの歩道はとてもベビーカー車椅子には通りにくく、まっすぐ進めるようにしてほしい。
42	40 歳代	・以前居住していた複数の他市と比べて、道路の危険をととても感じます。構造上の危険と、運転者のモラルによる危険と両方です。子供達が安全に通行できる道路になることを強く望みます。
43	30 歳代	・狭い道が多い為自転車の専用レーンがあれば、自転車も安全に自動車の方も運転がしやすいように思います。
44	70 歳代	・公民館、図書館の利用者用にある駐車場を近隣住民も活用できるように有料モータープール化していただきたい。収益向上の一助となりうる。(公民館前のいちよう通りは月極駐車場のみであり、一時駐車(24 時間)できる場所がない)
45	30 歳代	・図書館の駐車場が遠くて小さい子連れは大変。
46	40 歳代	・イベント時にも、十分な駐車スペースの確保。

No	年齢	自由意見
47	80 歳以上	・公民館の利用で日により駐車が出来なくて、保健センターの駐車場に駐車しなければならない時がある。軽が多く普通車の駐車出来る数、場所を増やして欲しい。
48	40 歳代	・子育て中だと車での移動が多いです。駐車場が広い、いつでも利用できるくらいの感じだと行きやすい。図書館へ行っても駐車場がいっぱいで困ることも多いです。
49	40 歳代	・車での移動が多くなるので、駐車場の台数を確保してほしい。公共施設には、利便性が求められると思うので、その点を考えて対応してほしい。
50	70 歳代	・公共施設が充実すると、車での来場者が増えると思うので、駐車場の確保が大切と思う。
51	60 歳代	・広い駐車場スペースの確保をお願いします。
52	60 歳代	・車で行きたいときもあるが、図書館等は駐車場が空いていないことがあるので、駐車場を増やしてほしい。
53	30 歳代	・子連れなので、up つぷにも駐車場があると助かる。
54	30 歳代	・道路を横断せずに済むよう、駐車場を併設してほしい。
55	40 歳代	・利用の度に公共交通料金や駐車場代がかかるようだと利用ができません。無料の駐車場の充実は必修である。さやりんバスなども運行するでしょうが、高齢者だけ無料にする等の愚策は不公平感極まりないので辞めて頂きたい。世代間で不公平にならない方法を考えて頂きたい。高齢者は市のお金を使うだけだが、現役世代は税金を払う。現役世代に魅了ある街にしないと、街の衰退が加速するだけです。市税収入が増えるように現役世代に魅了ある街作りにしてください。今でもそこそこ大阪狭山市の強みである教育の充実は、優良な現役世代を街に呼び寄せます。そういう施策を打ち出して下さい。
56	30 歳代	・複合施設を検討しているのであれば、大型の駐車場の確保は必須。駐車料金はやむを得ないが、さやりんバスの料金と同額程度の 100 円が望ましい。
57	60 歳代	・駐車場がもっと多いと利用しやすいと思います。
58	30 歳代	・大阪狭山市では自家用車で移動する人が多いと思いますが、駐車場が少ない、もしくは駐車場と施設の連結が悪い公共施設が多いと思います。例えば図書館など車は信号のない横断歩道を渡ってからでないと施設を利用できず、小さな子を連れて行くのは嫌だと感じました。施設を作るのであれば、市民がその施設を利用しやすいものとしてほしいと思います。
59	30 歳代	・公共施設なので人の集まる場所にしないと意味がないと思います。市民だけではなく他市からもいいところだ、行きたいと思われるような場所が理想だと思います。前提としてアクセスのしやすさを考えるのが一番だと思います。D エリアだとアクセスは近所でない限り自動車が主だと思いますので、駐車場の整備は必須。
60	40 歳代	・車で移動する人が多いからか、駐車場が足りてない気がします。
61	70 歳代	・図書館を駅近くに建設してほしい。
62	50 歳代	・図書館や公民館を駅前に移転してほしい。
63	60 歳代	・図書館だけでも駅近にあれば、買い物帰りに利用したい。学生なども自習などで、利用が増えるのではないかな。
64	60 歳代	・図書館が金剛駅前にあれば、便利。
65	60 歳代	・図書館は、駅前移動で、駅界隈の活性化も図ると良いのでは。

No	年齢	自由意見
66	60 歳代	・河内長野市モビリティ「クルクル」地域移動支援事業を推進してほしい。免許返納の時代に高齢者の移動支援を宜しくお願いします。
67	70 歳代	・足が不自由ですから、今の場所から遠くなると、もう行けません。年寄りから楽しみな麻雀がなくなるのは大変困ります。
68	60 歳代	・さやりんバスの必要性を感じないので、縮小し、無料タクシーなどがよい。
69	50 歳代	・今の公民館は駐車場が道路の反対側にあり、荷物を運んだり道路を渡る危険性もあって不便です。コミセンのように地下駐車場とエレベーターの設置を希望します。
70	60 歳代	・大阪狭山市循環バスの福祉センター前降り場を老人福祉センターの入口に移設してほしいです。乗り場は老人福祉センターから下るので問題ありませんが、降り場からだ、けっこう坂がキツイので、足腰に負担がきます。
71	40 歳代	・市内全体的に交通の便が悪く感じます。自家用車があれば何処へでも自由に移動できますが、高齢化や障害のある人達のように自動車で自由に移動できない人の立場に立った施設配置、政策が行われるよう希望します。 今回のアンケート対象ではないですが、体力がない、歩きづらい人にとっては、市内循環バスもバス停が遠く利用し辛い状況にあります。 政策を考える時は、基本的には健常者中心となって健常者の立場中心に進んでいくのが一般的だとは思いますが、これからの将来のことを考えるのであれば、子育て政策に力を入れるのも大切ですが、長くこの街で暮らしていきたいと考えている人が車がなくても、自転車に乗れなくても、バスに気軽に利用できる身近な存在である状況となるよう、自由に行動でき住みやすいと思える政策が策定されていくことを強く願います。
施設の充実について		
1	70 歳代	・図書館の蔵書が少ない。館内でも読める空間が欲しい。
2	30 歳代	・プラネタリウムは残してほしい。
3	70 歳代	・施設が古く、魅力がない。図書館の内容も、もっと新しい本を取り入れ、それをみんなが利用できるようにしてほしい。そこに、財政を回して内容のある知的向上を図る公共施設を望む。
4	60 歳代	・図書館の蔵書を増やしてほしい。そして、明るくしてもらいたい。
5	60 歳代	・本屋を併設して、購入できる方は自分で買ってもらい、読み終えたら、寄付してもらったらどうか。だから、みんなが行ける本屋さんを作ってほしい。また、いろいろな方の支援の窓口機能を併設して、必要な用具の見本などを試したり、購入もワンストップできる場所になるといいと思う。
6	70 歳代	・D エリアの利用者が増えることが予想されるので、利用しやすくしてほしい。
7	80 歳以上	・コミュニティセンターで、市に関する書類作成手続きができるようにしていただけるとありがたい。
8	30 歳代	・図書館を充実させてほしい。本の数を増やすだけでなく、階段を使用して、子供連れて上り下りするのは大変です。その場で、本が読みたくなるようなスペースがあったらいいなと思います。
9	40 歳代	・和泉中央にあるような公共施設を作ってほしい。図書館もセルフで借りれるようにしてほしい。
10	40 歳代	・近畿大学病院の跡地周辺に何ができるかによって、今回のアンケートの対象地域(図書館周辺 D エリア)の機能も変わる気がします。個人的には、図書館とカフェが一体化した施設(他県で TSUTAYA が運営しているような感じ)があれば行ってみたいですが、今の場所に建て替えとなると、郵便局利用者も合わさって、渋滞が起きそうで心配です。となると、近大の跡地(看護学校跡など)に図書館等の機能を一体化した施設を新設すると、駐車場も含めて確保しやすい

No	年齢	自由意見
		そうで、かつ、近大撤退後の振興策にもなり、一石二鳥な気がします。そんなに単純な話では無いと思いますが…。
11	50 歳代	・図書館のデジタル化でネットからでもレンタル閲覧出来るようにして欲しい。
12	60 歳代	・図書館の蔵書の充実を希望します。
13	50 歳代	・子どもも大人も利用しやすい図書館がほしい。子連れで歩いていくには結構な上り坂になっているし、バスは本数が限られているので車で行くか…となると、松原の読書の森のほうがいずれ明るくてスタッフも対応がいいし、買い物のついでに足のばそうか〜となります。 大阪狭山市に引っ越してきて、一番の残念ポイントが図書館でした。
14	80 歳以上	・現在、たまに利用しているのが、福祉センターですが、使い勝手はいいと思う。図書館・コミュニティセンターは利用していたが、役所感覚の取り扱いが多く、利用者に寄り添った態度・内容には乏しいと感じる。
15	70 歳代	・建て替え時に、新しい建物ができるまで、図書館などの公共施設の代替え措置としての場所の確保をお願いしたい。
16	40 歳代	・公民館、図書館は良く利用していますが、現在の運用は非常に使いやすく利用しやすい。今活動している各種クラブが維持活動し続けられる運用が必修である。また、再配置するなら当然の事ながら今よりもさらに利用しやすくすべき。
17	30 歳代	・2週間に1回、図書館を利用し、子供の健診や相談で保健センターにも大変お世話になりました。子供向けの本が多く、子供たちが靴を脱いで本を読めるスペースや、公民館での子供向けのイベント(市民祭り等)、保健センターはそのままであって欲しいと思います。
18	70 歳代	・さやかホールの催し物をもっと魅力の有る物にして集客力をあげると良い。
19	60 歳代	・さやかホール以外にも特にコンサート・音楽などの一流の文化に触れる会場がほしい。
20	60 歳代	・A地区にもコミュニティセンターが欲しい。
21	50 歳代	・子供の一時預かり、ペットの預かりなどがあるとよい。また、おしゃれなカフェがあると利用しやすい。子供スペースは必須。老人向けが多すぎる。
22	20 歳代	・施設内にプレイマットを敷いてあるような子供と一緒に休憩できるような場所があるとバスまでの時間つぶしになるので助かります。
23	30 歳代	・子供連れ(小学生以下)で遊べる場所があればうれしい。特に雨天で利用できるところで、子供が体を動かせる場所。高すぎない料金で利用できるとなお、うれしいですが、そこは、施設の充実度に応じて。
24	40 歳代	・小学生の高学年を対象に就労している親がいる家庭は夏・冬・春休みのみ預かっていただけたところがあれば、良いと思う。土曜日でも預かってもらえれば、ありがたい。
25	60 歳代	・公立の総合病院を誘致いただきたい。公共の老人ホーム(民営を含める)を増やして欲しい。
26	60 歳代	・今はまだ体が動きますが、健康でいられなくなった時に、高齢者の相談支援をお願いしなければならないと思います。
27	80 歳以上	・高齢者の運動機能を高めるリハビリセンター、特に 70-90 歳と幅広い年齢に応じた道具と設備、また、天候に左右されない場所がほしい。
28	50 歳代	・小、中学校の子供たちが遊べるグラウンドや施設が少なく、遠くへ出かけたり家の中で遊ぶ子供が多い。
29	30 歳代	・近所に広い公園を望みます。

No	年齢	自由意見
30	20 歳代	・狭山池などのみどりをうまく活用できれば、景観として魅力ある公共施設ができると思います。
31	50 歳代	・必要な公共施設は、数階建てにまとめて、空いたスペースは公園にしてほしい。狭山池は幅が狭いし、ランナーや自転車で危険なのでゆっくりできない。桜だけでなく紅葉が欲しい。
32	60 歳代	・温水プールのある屋内施設を希望します。
33	60 歳代	・大型レジャー型のプール、健康ランド巡り、スポーツジム、やはり、狭山ブランド～屋台村等の食ベログ通り等々。
34	40 歳代	・今、子供が安心して遊べる場所が少なく、校区外にも子供たちだけではなかなか行けなく、思い切り発散して過ごせる場所が必要と感じる。例えば、校区内である小学校のプールを再配置し、すべての学校に子供たちだけで行けるようにするなど、市民グランドや総合体育館など、高いお金ではなく、子供たちが出せる範囲での貸し出しにする。今ある施設の中身を変えるなどして、予算を大切に。
35	50 歳代	・小学校区内にボール遊びがフリーでできる広場がない。そのため、住宅内の道路または庭で大きなボールを使って遊んだりする。小学生等が激しくボール遊びをしていて危険なこともあるので、難しいかもしれないが、将来的には整備を検討してほしい。
36	70 歳代	・総合体育館へのアクセスが悪いので、利用していないが、公民館でも高齢者の体操教室等の運動が定期的にできるとよいと思う。講座の募集等の人数も少人数にとどまらずに、大会議室(大広間)等で多数が参加できる高齢者の健康維持を考えた教室があればよいと思います。学校の体育館も利用できるとよいと思う。
37	30 歳代	・公園の遊び場で、犬などが入れないエリア(砂場)があれば、いいと思います。
38	30 歳代	・休日に子供と遊べる施設が少ない。雨の日や休日が一番することがないので、そういった日に利用できる施設を増やしてほしい。
39	30 歳代	・施設の充実はありがたいが、子ども達が周りを気にせずボール遊びや広く走り回れる広い公園がもっと必要と切に感じる。これから先、国の方針が子育て支援に力を入れるというなら、新生児からの支援はもちろん、小学生や中学生の子供達がのびのび遊べる場所を作り出し、提供するのも行政の大切な役割だと思う。 自分の子供も含めて、小さな公園で走り回っているがすぐに近所から苦情があり、小学生ながら周りの大人に物凄く気を遣って遊んでいるのを見てみると、本当に気の毒に思う。 小学校も公共施設に入るなら、校庭開放も検討してもいいかと思う。勿論、安全管理上の人員確保やルール決めは必須ではあるので、簡単にはいかないことは重々承知だが、検討の余地はあると思う。
40	50 歳代	・テニスコートなどのスポーツ施設の充実を期待したいです。
41	10 歳代	・ショッピングモールをつくらしてほしい。
42	60 歳代	・大阪狭山市内には「市立病院」がありません。現在近畿大学付属病院がありますが数年以内に堺市へ移転する予定です。医療福祉の観点より「市立病院」の設立を検討願います。
43	60 歳代	・展望台を新設し、そのビルの中に保健センターや図書館及びショッピングセンターを作り、1ヶ所で用事を済ませたい。また、粗大ごみの販売所も作成して欲しい。
44	20 歳代	・色々な所に無人コンビニの様な物があると嬉しい。
45	50 歳代	・Book カフェのような施設があればいい

No	年齢	自由意見
46	70 歳代	・公共施設ではないが、医療施設が少ない、近くにない、不便。
47	30 歳代	・阪神大震災を神戸で体験したものです。高齢者の災害時の対応や水への危機感が全くなく同じ関西なのにこんなに考えが違うのかとこちらに住んでから思います。色んな世代が気持ちよく利用出来る施設を是非お願いします。
48	30 歳代	・狭山駅周辺はスーパーやATMなど便利な施設がなくて不便。東小、北小校区にスーパーがなくて不便。新しい家だけでなくスーパーやATMなど（駐車場必須）をもっと増やして欲しい。
49	80 歳以上	・高齢者が役所等の手続や集会等に便利であるように計画してほしい。
50	40 歳代	・小学生の居場所づくりはとてもいい。しかし、校区外のため、あまり利用できないので、残念。
51	60 歳代	・災害時の避難拠点として、耐震対策をお願いします。
52	30 歳代	・地震防災の取り組みや高齢者の自動車事故・未成年の SNS を利用した犯罪被害（闇バイト・強盗・薬物）など、年齢に応じたテーマに対し地域として関われる環境や施設があり、地域安全の向上にも努めることが出来る。
53	20 歳代	・公共施設の敷地内にコンビニ等があれば、助かります。
54	30 歳代	・朝市やマルシェをしてほしい。
55	50 歳代	・緑地や公園を増やしてほしい。週末にキッチンカーやイベントなどを行い、人が集まるとよい。
56	50 歳代	・娯楽施設が少ない。公共施設やカフェ、その他使いたくなる場所が他市より少ない。
57	50 歳代	・図書館にカフェスペース。気軽に読めることで活字離れの抑制になる。
58	70 歳代	・公民館でいろんなことができるようにしてもらいたい。健康のためのスポーツ施設の充実がほしい。さつきそうの卓球の場所は狭くて危ない。公民館は古くなっているの、立て替えたり広くするなら、新しく保健施設と合体してもいいのではないか。
59	70 歳代	・大きなスーパーが遠いので、不便です。食料品・薬品は買えても雑貨店が少ないです。
60	80 歳以上	・狭山荘の建て替えについて、お願いがあります。狭山荘に通い、数十年となりますが、毎日、麻雀などで楽しく過ごしています。それが、できなくなることは耐え難い気持ちです。毎日、家にいることで、体が弱くなってしまうのではないかと心配しています。一日を楽しく過ごせる場所の提供をお願いします。
61	80 歳以上	・狭山荘は必ず残してください。特に麻雀部屋は高齢者の憩いの場所です。必ず工事の間は別の建物を用意してほしい。工事の間は休館しないでください。
62	70 歳代	・飲食施設のメニュー・サービスを充実させてほしい。
63	70 歳代	・福祉センターがなくなるのは困ります。特に麻雀クラブがなくなるのは、絶対に困ります。毎日の趣味行動として必要です。
64	80 歳以上	・交流の場および食堂が必要。みんなと交流して麻雀部屋の設置・移転する場合は仮建物の利用が必要。
65	70 歳代	・いつも狭山荘で麻雀クラブで楽しく過ごしています。今度、狭山荘がリニューアルのことですが、その工事の間、麻雀クラブの活動ができるようお願いします。
66	80 歳以上	麻雀クラブはぜひ、残してほしいです。麻雀は私の生きがいです。
67	70 歳代	・国民の義務を守り、納税していますが、有効に使ってほしい。今回、感じることは「老人の楽しみ、生きがいを大切にしてください」ということです。二～三年の仮スペースの確保、そして、完成したスペースで変わらず、皆さんと楽しく過ごした

No	年齢	自由意見
		いと思います。仮のスペースと完成したスペースで今まで通り、麻雀させてください。どうぞ、よろしくお願いします。
68	80 歳以上	・常設の麻雀室をお願いしたい。毎日、頭の体操をしています。
69	70 歳代	・来館者受付システムを導入してください。これは、入館記録も残るので福祉センター側も安心できるのではないかな。
70	60 歳代	・新館への移設がスムーズにいくようお願いしたい。
71	80 歳以上	・建て替え中でもクラブ活動ができるよう、別途施設の配慮をお願いしたい。人との交流は認知症を遅らせるので、早期の着工を期待。
72	70 歳代	・施設が統合されたら、使いやすくていいと思う。今まで通り、お風呂やマッサージ器も使用でき、食事・カフェ・コンビニのような少し買い物ができたらいいなと思います。
73	80 歳以上	・社会福祉施設の充実、交流場所の拡大・増設。
74	50 歳代	・障害児のために、大阪狭山市に特別支援学校をぜひ設置してください
75	50 歳代	・図書館が他市に比べて老朽化が著しく、施設の規模が小さすぎると思います。大阪狭山市の誇りになるような施設に早く生まれ変わることを期待します。
76	30 歳代	・自習できるスペースをもっと増やしてほしい。土日祝や平日夜に社会人のための勉強会を開催してほしい。
77	50 歳代	・教育施設の充実（ハード・ソフトとも）を期待します。
78	70 歳代	・老人福祉センターを利用しているが、立て替え時に別の施設を利用できるようにしてください！健康麻雀を利用しています。
79	70 歳代	・さやま荘老人福祉センターでお世話になっています。そこの健康麻雀倶楽部で楽しませて頂いていますが、現在 80 名弱会員がいます。手狭です。部屋を広げないと思っています。なおかつ、麻雀台などの移動は、大変な作業だと思っていますので、その様な事などは、お手伝いして下さいます様お願い申し上げます。 工事期間は、仮の場所の提供もお願い致します。 出ないと何上高齢者の事ですので工事期間中にでも毎日楽しみにしてる高齢者の方々の体調を崩す方も出てくる恐れもあります。 工事期間中の仮設場所の提供をお願い申し上げます。
80	50 歳代	・D エリアについて。文化と言うよりも、生涯学習の拠点、そして、市民活動の拠点になると良いと思う。市民の主体的な活動を支えるために、ボランティア活動、市民活動の支援機能があると良いと思う。当市には児童館（青少年会館）がないので、青少年の居場所となる空間があると良いと思う。 併せて、その世代のニーズに沿った体験ができる要素があると良いと思う。 例えば、バンド、ダンス、スケボー、ボールが使えるなど。 まちライブラリーのような市民が関われる機能もある図書館があると嬉しい。 現在、公民館、Up っぷに青少年の自習室がある。その機能は残ると良いなあと思うと共に、働く世代の方がコワーキングスペースを求めてられる気がするので、そんな場所もあると良い。他市であるような市民のカフェやショップのお試しスペースやその仕組みがあると良いと思う。 地域に外国人が増え、地域日本語教室に行かれている人も増えてきている。 中々難しいかもしれないが、例えば、こう言ったこれからの社会に不可欠な場は、常設のスペースを最初からあっても良いのではと思う。 他市であれば、複数あるかもしれない公民館、図書館。市民のみなさんの暮らしの一部になっているさやま荘。さやまには一個しかない機能ばかりです。建物が新しくなることは、嬉しいことですが、建替え期間中に、それらの今ある機能が諸々ストップしてしまうことは、市民のいろんなエネルギーを奪ってしまうと思うので、難しいかもしれませんが、できるだけストップしなくて済む方法を考えて頂きたい。

No	年齢	自由意見
81	70 歳代	・「公共施設は、行政サービスの拠点としてだけでなく」、「市民活動を 支える拠点といった機能も有しています」とある。D 地域には、様々な世代の市民が求めている、使いやすい施設を作って欲しい。 D 地区は、循環バスの乗り継ぎ地点となっている。図書館や公民館、保健センターなどの公共施設の集まっている地区との認識が定着している。 ここに市民の新たなニーズにこたえる施設を作って欲しい。図書館機能、市民活動支援機能を持った多用途空間を持った公民館的なもの。 市民の学習意欲を応援できる施設が欲しい。 また本市で機能できていない病児・病後児保育施設が欲しい。協力できる診療機能ができれば可能である。子育て支援機能のとして本市に欠けているものだと考える。交通の利便性に優れるこの地区の良さを生かすものとなる。保健センターの役割と相まって、成人のみならず、子どもたちの保健衛生面での支援となる。
建物・設備について		
1	80 歳以上	・安全であり、簡素で長持ちする建物にしてほしいです。デザインなど派手にしないでほしい。
2	80 歳以上	・階段が多く、行く気にならない。
3	70 歳代	・公民館の建物が古い。
4	60 歳代	・公民館の建て替えを希望します。
5	60 歳代	・図書館や公民館は階段が多く、行きにくい感じがあります。駐車場も入りにくく道を渡る必要があり、利用しにくい感じがあります。広々とした場所でゆったりした気分で行ける公共施設にしてほしい。
6	50 歳代	・図書館を新設してほしい。
7	30 歳代	・図書館の新設を希望します。
8	80 歳以上	・図書館、公民館の老朽化が心配。
9	30 歳代	・いろんな方がいるので、道路幅やトイレ個室などを広めにしていきたい。幼児二人と大人一人だと、トイレに行く際に三人で個室に入るため、手狭な場合、あきらめて別のトイレを探しています。
10	50 歳代	・図書館を利用したいが、古くて暗いイメージがあり、あまり行かない。公民館も、もっと機能的で新しくした方がよい。
11	70 歳代	・施設が古く、魅力がない。
12	無回答	・公民館のエレベーターが狭い、台数が少ない。正面の階段は広くなくてよいと感じる。
13	60 歳代	・専門家の件を取り入れ、建物を見ただけでワクワクするようなものを作ってほしい。狭山のシンボルになるようなものを期待しています。
14	40 歳代	・狭山で生まれ育ち、40 年以上がたちました。自分の子供の頃からほぼ変わっていない図書館や公民館を今は我が子と利用しています。懐かしく親しみはありますが、照明が暗く感じたり、老朽化も進んでいるので、健康で 80 歳 90 歳になっても利用できるように明るくて開放的で足を運びやすい施設に変わっていくことを期待しています。
15	70 歳代	・公民館の多目的ルームと隣のギャラリーの壁が薄く、後援会の会話が聞こえにくい。
16	70 歳代	・D エリアは今ある施設を一か所に集め、耐震強度のある建物を作り、色々な行事の動線が楽なように作ってほしい。施設を集めると使用者も一か所に行くつもりが、ついでにほかの施設も利用するなど利用率が上がると思う。余った土地を貸して、市の税収になるよう考えてはどうか。

No	年齢	自由意見
17	40 歳代	・公民館が古い。明るい場所になったら、行きたくなると思うし、図書館もおしゃれになったら行きたい。
18	60 歳代	・図書館が暗く、狭い。開放感が欲しい。従って、他の市の図書館を利用している。
19	60 歳代	・図書館のスペースに庭の空間がほしい。そして、もう少し図書館の規模が大きいと嬉しい。
20	60 歳代	・図書館、公民館等老朽化が進んでいる施設について、明るく誰もが入りやすい施設にして欲しい。
21	30 歳代	・現在の所在地と機能は変えない方が混乱は無い。基本的に全ての施設や照明含む設備等が古いため、どのような活動をしているのか見えづらい。明るい開放的な施設にしてもらえると活動意欲も湧くかと思う。
22	50 歳代	・耐震性が高く明るい施設。
23	30 歳代	・図書館の下駐車場(自転車等)が昼間でも暗く、エレベーターに行くまでが少し怖い。どの施設も明るくて見通しを良くして欲しい。
24	40 歳代	・何度かプラネタリウムを利用させてもらうことがありますが、老朽化しているので新しくしてほしい(狭山の街並みも変わってきたので)。
25	70 歳代	・老人福祉センターの傘立てがコンクリート製のため、利用する気持ちにならない。また、老人福祉センターという名称を変更し、「シニア元気センター」にすればどうか。
26	70 歳代	・高齢者が外に出て活動することは人とのコミュニケーションや健康面で非常に役立っている。しかし、コミュニティセンターのトイレ(洋式が各階に一か所のみ)など、高齢者に優しいとは言えない施設がある。高齢者社会に適応した施設を作ってほしい。
27	50 歳代	・図書館・公民館の老朽化も深刻ですが、保育園・幼稚園の老朽化に手を打つべき。公立の保育園・幼稚園があまりにもひどい。これで子育て支援になるのでしょうか。
28	70 歳代	・南館の建物ももっと大きくしてほしい。
29	50 歳代	・市役所南館が全体的に暗く、トイレも和式と洋式で二階には和式しかなく不便である。
30	70 歳代	・施設が広範囲にならずコンパクトで利用しやすくする。
31	70 歳代	・狭山池に橋を1本渡す要望。 健康な人はジョギングやウォーキングで楽しんでいます、小さな子供連れはほとんど見かけません。障害者、車イス、松葉つえの人達は距離が長く利用している人は見かけません。今後、増々高齢化が進むことを考えたら屋根付休憩所が必要です。疲れた時に、池の途中で帰れるように、池の中位に橋を設置すれば利用する人が更に増えると思います。他地域の人は「狭山池は休憩場所がなく夏は特に暑いから行くのをためらう」と意見が出ています。検討をしてください。
32	70 歳代	・南青少年運動広場のトイレは和式しかなく、障害者用もありません。大阪狭山市内をめぐるウォーキングコースになって、他の市からの人も使いますので、改善願います。市の職員はもっと地域に出て、市民の声を聴いてください。
33	70 歳代	・B 地区の体育館が古く、照明も蛍光灯やダウンライトと無駄が多い建物になっており、改善が必要だと思います。
34	40 歳代	・運動施設の拡充を希望。各運動場やテニスコート、体育館などが老朽化等で使い物にならないものもある。運動施設を拡充させることにより人やお金を動かすことが出来ると共に運動場などは災害時の避難場所等にもなりうるため早急な改革が必要。
35	70 歳代	・狭山池博物館の館内の通路が分かりにくく迷子になる。

No	年齢	自由意見
36	80 歳以上	・金剛駅西側ロータリーは全てが中途半端な印象。また、東口はエレベーターの設置をお願いします。高齢者にとって、下りエスカレーターは最初の一步が出ず、階段はもっと負担がかかります。安全のため、是非エレベーターの設置をお願いします。
37	40 歳代	・施設ではないですが、駅前にある掲示板の事。押しピンで刺してありますが、掲示板の板が固く数日後にはチラシが落ちています。十数年前にも役所に聞いた事があるのですが、しっかり刺し込んで下さいとの事。刺してみして下さい。固いです。板を替えて欲しいです。
38	60 歳代	・高齢化が進む中で、各施設が二階建て以上の場合、身体障害のある方のことも含めて、エレベーターの設置を希望します。
39	80 歳以上	・坂や階段はつらいのでエレベーターの設置を希望。これからは net 活用の時代、全館利用できる Wi-Fi 環境の整備を。
40	70 歳代	・館内の WiFi 設備がほしい。
41	70 歳代	・図書館を明るい感じにしてほしい。
42	50 歳代	・確かに古くなってきている…今後作りなおすならば高さ(フロア)を増やして一棟で構えて欲しいです、その分駐車場も充実して欲しい。
43	50 歳代	・意匠や見栄えは二の次三の次でいいので利用者の導線やニーズに沿った明るい(実際にもイメージも)空間。近い将来に来る大地震に備えた施設と備品類をぜひ考慮してください。
44	50 歳代	・ユニバーサルデザインの観点も必要。使い方が限られた部屋がたくさんあるよりは、多機能に変化可能な部屋が多くある方が良いように思う。 例えば、全室防音であるとか、仕切りによって変形可能など。全館 Wi-Fi
情報発信・市民参画		
1	30 歳代	・どんな取り組みができるかアンケートをとるのもひとつ。講座開催等市民のニーズに合ったものができるといい。
2	70 歳代	・D エリアの立地がわかりにくく、施設の名称と内容がわからない。
3	70 歳代	・どの施設もアピール度が不足している様に思う。
4	30 歳代	・世代により考え方に差があると思うので、ワークショップなどに参加している高齢者等の意見のみで、方針を決定しないでいただきたい。平日に実施するイベントには子育て共働き世代は参加できないことが多く、広く意見を募る方法について考えてほしい。
5	70 歳代	・コミュニティセンターの自習スペースや談話スペースがあまり利用されていない。もっと PR して、たくさんのひとが活用していけるようにしてほしい。いつもほとんど人がいない。
6	70 歳代	・また、各施設で何が行われているのかわからないので活動内容・項目・予定を住民に周知すべきではないか。
7	60 歳代	・どのような施設があるのかのアナウンスが不足している。新しい施設を作っても、だれがどのように利用できるのか周知しなければ利用することができない。
8	50 歳代	・取り組みはいいと思いますが、一般市民への告知はどのようにされるのでしょうか。皆さんの認識度にもよるものと思いますが、認知度が低いのではないのでしょうか。意識のある方だけの取り組みにならないようご配慮下さい。
9	40 歳代	・総合体育館とかあるのを知らない新規転入者のために定期的に市内の公共施設を広報などで紹介してほしい。

No	年齢	自由意見
10	70 歳代	・老人福祉センターは利用したいが、今一つどんな施設かわからない。常連さんがいて、新人はなじめないと話に聞くので行きにくい。どんな人でもフランクに利用できるように内容を公開してほしい。
11	70 歳代	・さつき荘、さやま荘の名前に似ていてわかりにくい。
12	50 歳代	・何をされているのか分からなく利用しにくい。あっぱっぷが近くにあるが、企画があまり分からなく利用しにくい。
13	50 歳代	・予算をどこにどのように使っていくか。幅広く意見を聞いて反映してもらいたい。近大が移転したことによる医療への不安があるので跡地利用について慎重に決めてもらいたい。
14	80 歳以上	・現在、建て替える必要があるのか、具体的な説明がほしい。
15	60 歳代	・市民の意見を十分に反映してほしい。
16	40 歳代	・何のための施設かわからないものが多すぎる。機能しているのかもなぞ。
その他		
1	70 歳代	・帝塚山大学が去り、近大医学部も去る。老人の町、介護施設の町、所得税の高い町。D エリアの取り組みもあるが、若者の集まる街、ベッタタウンとして魅力ある街にすべき。情報サービスや企業、そして、新たな施設の開拓も大事。
2	50 歳代	・若い世代の転入を促す魅力がなければ、地域の衰退は避けられない。施設の継続・維持、統廃合の前に優先事項を明確にすべきだと思う。
3	70 歳代	・施設の在り方も大切と思うが、そこに働く人材(保育士・介護士等)の質と待遇を充実させてほしい。
4	40 歳代	・D, Eエリアは新しく開発をしてほしい。
5	70 歳代	・新本庁舎建設を希望します。
6	80 歳以上	・狭山中学の敷地・校舎は狭く、前の土地に広がるものと思っていたら、突然、あっぱっぷが建ち、悲しい限りです。何事も50年後を考えて、決断願います。
7	50 歳代	・保健センターや健康福祉関係機関については近大病院跡地を活用したらどうでしょうか。
8	40 歳代	・狭山池の活用を期待したい。
9	60 歳代	・ふれあいの里の駐車場は入り口まで遠く、道幅が狭く、車がすれ違いうことができない。総合グラウンドの駐車場は車の出入庫がしづらい。フェンスの設置方法に疑問。
10	70 歳代	・金剛駅西口の道路は最悪。早急に解決すべきと考える。
11	60 歳代	・駅周辺の再開発がされていない。(大阪狭山市駅)踏切のラッシュ時の混雑がひどく、自動車の通行や歩行者の安全が確保されていないので、市の玄関口としてふさわしい整備がなされるようにして頂きたい。
12	70 歳代	・金剛駅周辺は何年たっても、昔のままで進歩がない。大阪狭山市の中心駅はどこか。どの駅も静かで寂しい感じ。駅を中心に様々な世代の人々が楽しめる大型リゾートがあれば、いいですね。
13	50 歳代	・狭山駅近辺に居住しているが、スベリオの前の空き地の有効活用や北野田駅への西除川を渡る橋建設を行い、駅近の利便性を生かした公共施設を作してほしい。
14	40 歳代	・金剛駅はかなり利用者が多いにもかかわらず、古くて、カフェなどもほとんどなく、魅力が皆無。また、西口側ロータリーは、送迎のための一時駐車スペースがほとんどなく、かなり不便。15 分までは無料で停められる場所などがあると助かる。年配の方が、重い荷物を引っ張って、大野台のスーパーから帰られている

No	年齢	自由意見
		のを見かけると、本当に気の毒だと胸が痛む。送迎など何かできることはないかというも思う。
15	60 歳代	・金剛駅周辺の大規模改造。
16	70 歳代	・各駅周辺の活性化を希望します。観光地ではないので、駅員もサービス精神の欠けた方が多い。市民のボランティア精神を育む考え、行動に協力したいと考えています。
17	70 歳代	・施設のあり方ではないのですが、障がい者や介護に必要な日常の備品等をディスカウントストアや薬局で安価に購入できることがないのですか。
18	20 歳代	・要望として、道路(水路敷)の修繕を至急お願いしたい。一昨年六月にも市役所に架電したところ、担当部局に言っておくとの回答であったが、以後、工事の対応なし。場所は金剛原田クリニック東側の水路敷上の鋼製蓋上のノンスリップシートの取り換え。
19	50 歳代	・狭山駅にて、「市役所はどこですか。」と尋ねられことが数回あります。市外から来られる方への案内が必要と思う。
20	60 歳代	・多額の費用をかけて、安藤忠雄設計の大阪府立狭山池博物館を作ったのだから、もっと各種講演会・イベント、研究機関として使用すべき。今後はねこのようなランドマーク的な存在は不要。
21	70 歳代	・私は目が悪く、スマホやパソコンができず、行政や新しい施策についていけません。電子マネーやマイナンバーカードを使うことができません。QR コードも活用できず、メールもできません。こんなところにも、予算の配分を。
22	70 歳代	・公共施設をいくらきれいにしても、一步小道に入ったら、歩道は雑草だらけ、池の周りのごみの山、動物の死骸など、本当に残念。いつも散歩等のとき、雑草、木の枝など歩道にはみ出したものをハサミでカットしている。見回りしてみてもうでしょうか。
23	50 歳代	・桜の木が切られ、どんどんなくなっています。
24	70 歳代	・近大病院の跡地について、具体的な話が見えない。もう二年を切っているが、病院機能を検討しているなら、もう決まっていなくては。まったく市の動向が見えない。
25	80 歳以上	・パソコンなどで便利になるのは良いことですが、高齢者がついていけないので対応しやすいようにお願いしたい。
26	60 歳代	・論点からそれるが、市政の中長期的な判断が甘いと思う。近畿大学医学部および附属病院が移転となってしまったのは、市政の一大失策。地域の勢いが失われる大きな原因。市の魅力づくりを真剣に考えてほしい。超高齢化時代にヘルスケアの一大拠点がなくなったことを真摯にとらえ取り組んでほしい。
27	80 歳以上	・街路樹を丁寧に扱って美観を維持するよう要望する。
28	60 歳代	・公園施設に猫の糞が放置されているので、駆除を要望する。
29	50 歳代	・孫がさやりんバスが大好きでよく利用するので、バスのミニカーがあれば、いいと思っています。
30	40 歳代	・狭山池の活用を期待したい。
31	30 歳代	・狭山池を階段を使わずに周回できるように閉鎖してるエリアを開放してほしい。
32	70 歳代	・自治体組織の活用で経費をかけずにこの調査できないか。
33	50 歳代	・アンケートの回答に対して、粗品の配布を検討したらどうか。
34	20 歳代	・3 月にアンケートに協力しようと思い QR コードを読み取ったところ、接続出来なかった。若年者層の回答率低下に繋がるのではないかと懸念する。接続できる状態にしてから郵送してはどうか。

No	年齢	自由意見
35	70 歳代	・建設案として、センター前のゲートボール場または保健センターの裏の駐車場あたりに 3 階建てのセンターを建設してほしい。
36	60 歳代	・狭山池の桜を順次、白いものに変更してほしい。
37	50 歳代	・コミュニティデザイナーの山崎亮氏を招聘して、市民主体のまちづくりを検討してはいかがでしょうか。
38	60 歳代	・現在、大阪狭山市知的障がい者・児支援団体 NPO 法人あんずの会に所属し、アプリコットホームを利用しております。大阪狭山市公共施設再配置計画において、「立ち退きを強いられる」とのことを聞き及んでいます。市の借地に会独自でホームを建てました。何年も何年も血のにじむ思いで、お金を貯め 20 年前にやっとの思いで障がい者・児のよりどころとしてアプリコットホームを建てました。無償でお借りしていた土地も数年前から有償となり会の財政もひっ迫しております。そこに立ち退きの話。何やら土地は市が見つかるも建物は自費でとのこと。大阪狭山市には神も仏もないのか。どうぞ障がい者・児が安心して集える場所の確保をお願いいたします。立ち退きは仕方ないと思います。どうぞ建物込みでの代替え地を考えていただけるようお願い申し上げます。
39	60 歳代	・市としてのビジョンをしっかり持った人がまず語る姿勢がなく、アンケートの質問があまりにも基本的な部分であるという形であることに不安を感じました。取り急ぎ市長以下、議員が明確に絵空事でなく収支をふまえた上、何を残し、何を廃止するかをこの質問に対しての回答を記名の上提出してください。
40	70 歳代	・事例紹介の「武蔵野プレイス」は 4 つの機能を併せ持ち各世代が交流できる「場」としての公共施設を目指すという素晴らしいなと感じました。
他、「満足している」等の意見 14 件		

参考資料(アンケート調査票)

公共施設の再配置に関する市民アンケート

市民の皆様には、日頃から市政にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

本市では、これまで、経済発展や人口増加を背景に、多くの公共施設を整備してきましたが、いずれの施設も老朽化が進み、大規模な修繕や建替えが必要な状況にあります。また、人口減少・少子高齢化といった人口構成の変化や公共施設に対する市民ニーズの変化など公共施設を取り巻く状況も大きく変化していることから今後の公共施設のあり方について検討することが喫緊の課題となっています。現在、今後の公共施設の適正な管理運営に向けて、各種取組みを進めておりますが、まちの将来像を見据えた「公共施設の再配置」を検討するうえで、市民の皆さまのお考えをお聞きたいと思っております。お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和6年4月

大阪狭山市長 古川 照人



◆インターネット（スマートフォン）からご回答いただけます。

- ・左記のQRコードから回答フォームにアクセスできます。
- ・インターネットで回答された方は、郵送での回答は不要です。

◆記入にあたってのお願い

・本資料は、本市のまちづくりの考え方や、公共施設マネジメントに関するこれまでの取組について紹介しています。まず、本資料をご覧くださいから別冊の「アンケート調査票」へのご回答をお願いいたします。また、これまで策定した公共施設に関する計画等の概要版を同封しておりますので併せてご確認ください。

◆調査対象

調査は、無作為に抽出した16歳以上の市民3,000人を対象に実施しています。
調査は無記名でご回答いただき、その結果は統計的に処理して利用させていただきます。
また、市政運営以外の目的で使用することはありません。

◆アンケートの回収について

まことに勝手ながら集計の都合上、別冊のアンケート調査票に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に封入し、**4月22日（月）までに、切手を貼らずにポストにご投かんください。**

◆アンケートに関する問い合わせ先

大阪狭山市 総務部 資産活用・契約グループ（担当：那谷、高木）

電話：072-366-0011（代表） FAX：072-367-1254

Eメール：kanzai@city.osakasayama.osaka.jp



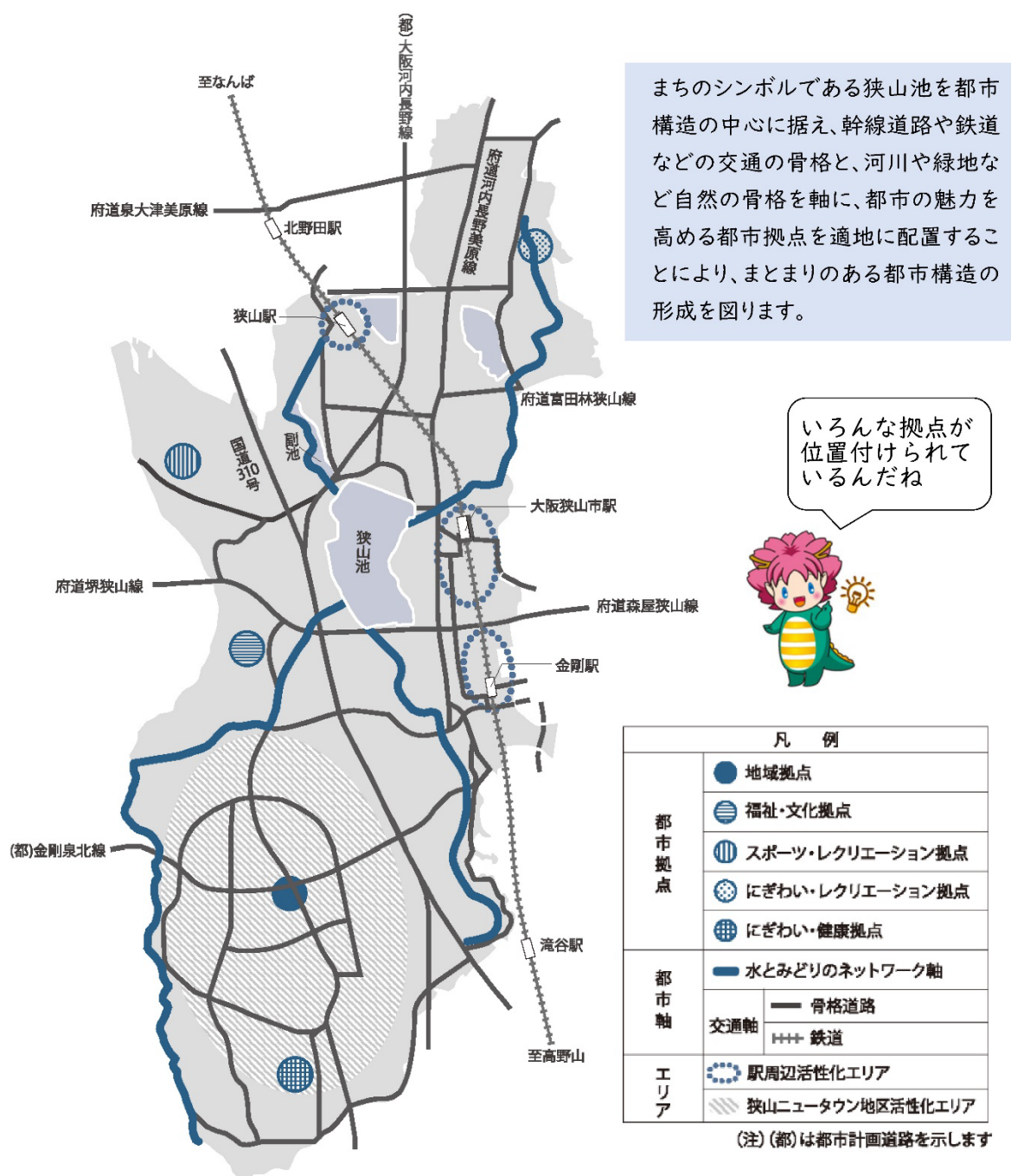
本アンケートでいただいたご意見は、2024年9月に策定予定の「公共施設再配置計画」に反映させていく予定です。

なお、具体的な建設位置や事業手法、複合化する機能の詳細や規模などは、再配置計画策定後に予定していますそれぞれの施設の「基本構想」等の策定段階において検討してまいります。

本市のまちづくりの方向性（将来都市構造）について

公共施設は、行政サービスの拠点としてだけではなく、まちの賑わいや交流を促し、市民活動を支える拠点といった機能も有しています。現在の公共施設は建てられてから数十年が経過しており、まちの姿も市民のニーズも建設当時とは大きく変化しているため、建替えを計画する時には、将来のまちづくりを見据えた配置の検討が必要です。

本市の最上位計画である第五次総合計画※¹では、将来の都市構造について、以下のように示しています。 ※¹ 計画期間：令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）



○本市の将来都市像（大阪狭山市第五次総合計画 都市構造図）

公共施設をとりまく状況などについて

○ 人口の見通し

本市の人口は、今後緩やかに減少に転じ、少子高齢化が一段と進むと予想されています。また、生活様式の多様化などにより公共施設に対するニーズも変化していくことが考えられます。

○ 公共施設の老朽化

公共施設の多くが高度経済成長期に整備され、老朽化により今後、更新時期が集中することが考えられます。大阪狭山市公共施設等総合管理計画では、公共施設を現状のまま維持した場合、今後 40 年間の修繕・改修・更新費用として年平均約 14.2 億円（長寿命化の対策を実施した場合は、年平均 12.7 億円）必要になると見込んでいます。



公共施設をとりまく状況が大きく変化しているから、公共施設のあり方を検討することが課題になっているんだ

これらの課題に対応するため、本市では、「大阪狭山市公共施設等総合管理計画」や「大阪狭山市公共施設再配置方針」を策定し、公共施設マネジメントの理念や数値目標を以下のように挙げています。

公共施設マネジメントの理念

- ・人口構成やニーズの変化に対応した機能の提供
- ・効率的・効果的な行政サービスの提供
- ・予防保全による長寿命化と総量縮減による更新費用等の抑制

数値目標

公共施設総延床面積
約10%削減

理念や数値目標などを踏まえ、施設や機能（公共サービス）の提供が将来も持続可能となるよう中長期的な視点から公共施設の再配置の取り組みを進めています。

再配置に対する主な市民意見について（令和4年度市民アンケート結果より）

令和4年度に実施した市民アンケート※1で、公共施設の再配置にあたって、「どのような施設から再配置を検討すべきか」、「今後施設を適切に維持管理していくために積極的に実施すべき手法」について伺ったところ、次の意見が多く見られました。

※市民アンケート：無作為抽出した16歳以上の市民3000人が対象。有効回収率は37.0%

質問

どのような施設から再配置を検討すべき？

積極的に実施していく手法は？

多く見られた意見

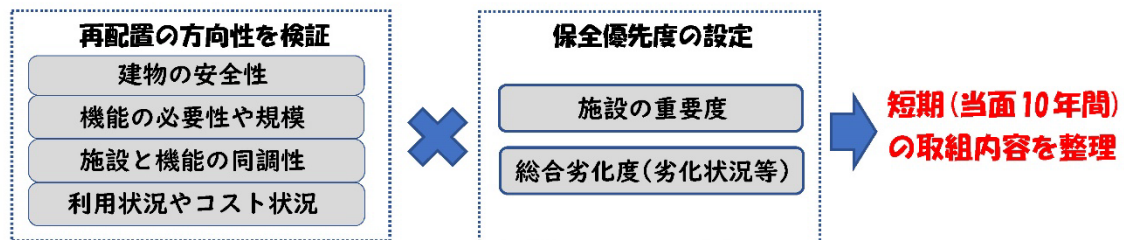
○あまり利用されていない施設
○老朽化が著しい施設

○複合化により機能集約を行う
○利用されていない施設や土地から収入を得る



再配置の方向性及び優先度について（大阪狭山市公共施設再配置方針より）

令和4年度に実施した市民アンケート結果も考慮し、策定した大阪狭山市公共施設再配置方針（令和4年度策定）では、公共施設の再配置を検討するにあたり、「建物の安全性」を最も重要な要素とした上で、「機能（公共サービス）の必要性や規模の適正化」、「施設と機能の同調性」、「利用状況やコスト状況」などの視点から、各施設が短期（当面10年間）で取り組むべき内容を整理しています。



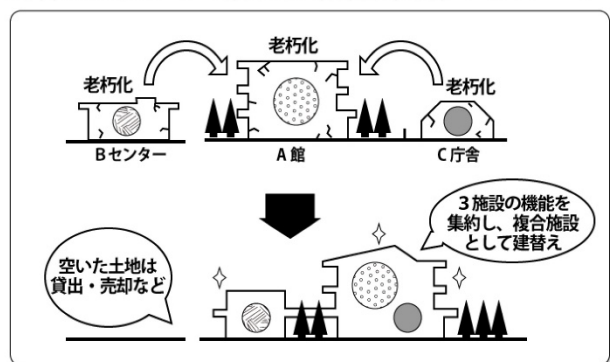
短期での取組内容	該当する施設名称
当面維持 (14施設)	市役所(本庁舎)、消防署、総合体育館、文化会館、池尻体育館、消防署ニュータウン出張所、さやか公園防災備蓄倉庫、東大池公園防災備蓄倉庫、学校給食センター、教育支援センター、斎場、野球場、市民総合グラウンド/山本テニスコート、子育て支援・世代間交流センター(UPっふ)
短期で再配置を想定する施設 (11施設)	庁舎南館、図書館・公民館、心身障害者福祉センター及び母子父子福祉センター、保健センター、コミュニティセンター(ニュータウン連絡所含む)、社会教育センター、市史編さん所、子育て支援センター(ぼっぼえん)、障害者地域活動支援センター
当面維持 (中長期で再配置を想定する施設) (8施設)	東放課後児童会、北放課後児童会、第七放課後児童会、旧くみの木幼稚園、牛乳パック整理作業所、社会教育グループ倉庫、第三青少年運動広場/大野テニスコート、シルバー人材センター
譲渡・廃止 (1施設)	西池尻連絡所
引き続き検討 (5施設)	ふれあいスポーツ広場、旧狭山・美原医療保健センター(休日診療所)、市民ふれあいの里(花と緑の広場、スポーツ広場、青少年野外活動広場)

課題解決に向けた取り組みについて（施設の複合化の推進）

課題解決に向けた取り組みの一つとして、施設の「複合化」が挙げられ、例えば以下のようなメリットが考えられます。

- ① 1箇所で複数のサービスが受けられる
- ② 利用者同士の交流やにぎわいが生まれる
- ③ 建物をコンパクトにできる
- ④ 地域の拠点として安全・安心の提供
- ⑤ 跡地等の活用で新たな価値を創造
- ⑥ 公民の連携がとりやすい

建替えに合わせて複合化（機能集約）するイメージ



大阪狭山市の取り組みのご紹介

公共施設に関する計画等の策定について、現在の取り組み（公共施設再配置計画策定委員会）の状況等をホームページでご覧いただけます。

大阪狭山市公共施設等
総合管理計画



（策定済）

大阪狭山市公共施設
再配置方針



（策定済）

大阪狭山市公共施設
再配置計画策定委員会



（策定に向けて検討中）



これまでの取り組みの内容や、現在の状況等の詳細は、
上のQRコードを読み込めばホームページにアクセスできるよ

現在、策定に向け検討作業中の関連計画・方針等

大阪狭山市立地適正化計画

「コンパクトシティ+ネットワーク」の視点から、市全体の居住を含めた都市機能の誘導と拠点形成、公共交通ネットワーク形成等に関する計画です。計画策定（令和6年12月予定）に向け、現時点の骨子案に対する市民意見を募集しています。



（募集期間：令和6年4月1日～22日まで）

大阪狭山市立学校園の適正規模・
適正配置に関する実施方針

子どもたちにとって望ましい教育・保育環境の実現に向け、具体的な対策や方向性について示した方針です。方針策定（令和6年7月予定）に向け、現時点の素案に対する市民意見を募集しています。



（募集期間：令和6年4月1日～22日まで）

※詳しくは市HPまたは上記QRコードをご覧ください。

他都市での公共施設複合化の事例紹介（東京都武蔵野市）

●ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス（平成23年7月9日開館）



外観



青少年向けラウンジ

・まちづくりの推進の一環として、「図書館」「生涯学習支援」「青少年活動支援」「市民活動支援」の4つの機能を併せ持った施設です。子どもたちからお年寄りまでが交流する「場」として、地域社会の活性化を深める新しい公共施設を目指しています。
・緑に囲まれたこの施設は、周辺環境に配慮し、公園や道を歩く人々にも心地よさを提供するとともに、屋上緑化や雨水利用などさまざまな工夫を行っています。



（出典・参考）文部科学省ホームページ（一部加工）

別冊の「市民アンケート調査票」にご記入をお願いいたします。



市民アンケート調査票

本アンケートで示している取り組みの一例は、現時点で実施が確定したものではなく、皆さんの**ご意見を伺うための「素案」**として整理したものですので、その旨、ご了承ください。

※同封しております、別冊の「本市のまちづくりや公共施設マネジメントの取り組みのご紹介」をご覧くださいの上、ご回答をお願いいたします。

ご回答いただいた本票（アンケート調査票のみ）は、同封の返信用封筒に封入し、**4月22日（月）までに**、切手を貼らずにポストにご投函ください。



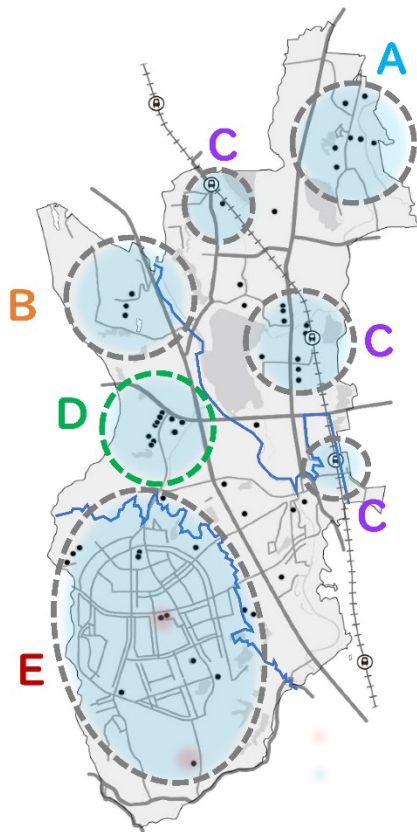
◆インターネット（スマートフォン）からご回答いただけます。

- ・左記のQRコードから回答フォームにアクセスできます。
- ・インターネットで回答された方は、郵送での回答は不要です。

問1 取組みを進める上で、意見交換や情報共有の方法についてお尋ねします

第五次総合計画で示されているまちづくりの方向性(将来都市構造)と、エリアや拠点ごとに、現在立地している公共施設を整理すると以下のとおりです。

※本案は、実施が確定しているものではなく、ご意見をうかがうための「素案」として整理しているものです。



エリア	拠点やエリアの内容 (第五次総合計画)	エリア内の主な公共施設 (再配置方針対象施設)
A にぎわい・レクリエーション拠点	水とみどりのネットワーク上の拠点となり得るみどり空間として、市民が交流できる環境づくりを進めます。	市民ふれあいの里、旧狭山・美原医療保健センター、斎場など
B スポーツ・レクリエーション拠点	市民が利用しやすく憩える環境づくりを進めます。	総合体育館、市民総合グラウンド/山本テニスコート、野球場
C 駅周辺活性化エリア	人々が親しみ集える場となるよう整備を進めます。	子育て支援・世代間交流センター、消防署、市役所、 市役所庁舎南館 、文化会館 など
D 福祉・文化拠点	市民が利用しやすく集まりやすい環境づくりを進めます。	図書館、公民館、保健センター、老人福祉センター、心身障害者福祉センター及び母子・父子福祉センター、障害者地域活動支援センター、市史編さん所 など
E 狭山ニュータウン活性化エリア	関連計画に基づいた取組を進めるとともに、若年層の流入を促す視点で、住宅や土地の流動性を高める取組を進めます。	学校給食センター、ふれあいスポーツ広場、 子育て支援センター、コミュニティセンター、消防署ニュータウン出張所、旧くみの木幼稚園 など

再配置方針において「短期に再配置(見直しや建替え)を想定する施設」に位置付けられている施設

短期(当面10年間)に再配置(見直しや建替え)を想定する施設のうち、特に著しい老朽化等が進行する施設がDエリアに集積しています。そのため、Dエリアの取組みを優先的に進めたいと考えています。

Dエリアの取組みを優先的に進めていくことを想定していますが、Dエリアの取組みを進めるにあたって、今後あなたが参加したいと思えるものすべてに○印をつけてください。

- 1 タウンミーティング(市長や、有識者を含めた意見交換)
- 2 ワークショップ(具体的にどのような施設にしたいか等をみんなで議論)
- 3 講演会・説明会(有識者や市の担当者からの講演・説明を受ける)
- 4 アンケート(市からの配布や、インターネットでの質問項目についての回答する)
- 5 その他()
- 6 どれも参加したいと思わない

問3 Dエリアにおける取り組み（必要な機能）についてお尋ねします

※本案は、実施が確定しているものではなく、ご意見をうかがうための「素案」として整理しているものです。

表1（取り組み（再配置）の一例）

「第五次総合計画」や、「（案）取り組みのイメージ」に基づき、Dエリアにおける取り組み（再配置）の一例として、表1のようなことも考えられます。

※複合化する機能の詳細については、施設の基本構想策定段階において検討します。

充実させる機能など（事業概要）	※複合化する機能の詳細イメージ
取り組みを進めるにあたっては、下記の機能の充実や、視点を考慮しながら、施設の建替え等に併せた効率的かつ効果的な再配置の検討を行います。	一般・児童図書の貸出
・図書館機能	学習スペース
・生涯学習支援機能	会議室、団らん室
・市民活動支援機能	ホール、ホワイエ（交流空間）
・子育て支援機能	貸室
・保健機能	プラネタリウム
・高齢者の生きがいづくり機能	多目的スペース
・障がい者活動支援機能	スタジオ（音楽、創作、料理）
・防災機能	シャワールーム、トレーニングルーム
・各種機能融合による質や利便性の向上	プレイルーム
・民間との連携による新たな付加価値の創出	健康促進空間（健康相談、予防接種）
・施設の複合化による維持管理費等の縮減	各種事務所
・交通結節点の形成	あそびの広場
	雨天利用可能な屋外空間
	癒し、くつろぎ広場
	商業サービス（施設内での飲食、物販）

Dエリアの今後の機能のあり方についてお聞きます。

今後、Dエリアの取り組みを進めるにあたって、あなたが充実させるべきと考える機能は以下のどれですか。あなたの考えに近いものを5つまで選んで、番号に○印を付けてください。

- 1 防災機能（災害時の避難所や防災活動に活用する場など）
- 2 交通結節点機能（バス、タクシーなど交通手段の接続が行われる乗り換え拠点）
- 3 図書館機能（図書の貸出、閲覧スペースなど）
- 4 生涯学習支援機能（相談、講座の実施、情報提供や自習室等の場の提供など）
- 5 市民活動支援機能（相談、活動の場、交流の場の提供など）
- 6 子育て支援機能（子育て相談、乳幼児の遊び場、親同士の交流ができる場の提供など）
- 7 青少年支援機能（放課後の居場所、学習機会の提供など）
- 8 保健機能（健康相談や予防接種など）
- 9 診療機能（休日診療、クリニックなど）
- 10 高齢者生きがいづくり機能（交流やクラブ活動、健康増進の場の提供など）
- 11 高齢者相談支援機能（介護、生活などの相談）
- 12 障がい者活動支援機能（活動の場の提供など）
- 13 障がい者相談支援機能（生活、くらし、福祉サービスの利用などの相談）
- 14 窓口機能（各種手続きや行政相談）
- 15 飲食ができる機能（カフェや食堂など）
- 16 日用品等の購入ができる機能（コンビニやスーパーなど）
- 17 広場機能（芝生や花壇、ベンチや、散歩や休憩、屋外での活動ができる場の提供など）
- 18 多用途空間機能（イベント等の開催できる空間など）
- 19 その他（ ）

問4 Dエリアの施設の利用状況についてお尋ねします

あなたは、Dエリアに立地する以下の施設を普段どのくらい利用しますか。施設ごとに「①利用頻度」から1つ選んで、番号に○印を付けてください。「①利用頻度」で「4」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選んで（複数回答可）、番号に○印を付けてください。「②利用していない理由」で「7」を選択した場合は、その理由を「③」に記入してください。

以下の各施設について、 それぞれお答えください	項目	①利用頻度	②利用していない理由（複数回答可）
		(過去一年間で) 1: 週に1回以上 2: 月に1回以上 3: 年に数回程度 4: 利用していない →②へ	1: アクセスが不便 2: 施設自体を知らない 3: 利用時間や利用料金に不満 4: 設備に不満(古い、狭い等) 5: 他市や民間の類似施設を利用 6: 利用する機会がない 7: その他→③へ
(記入例)		1 2 3 ④	1 ② 3 4 5 ⑥ 7
ア) 保健センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
イ) 公民館		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
ウ) 図書館		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
以下の施設は、利用対象の方のみお答えください			
エ) 老人福祉センター(60歳以上)		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
オ) 障害者地域活動センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7
カ) 心身障害者福祉センター及び 母子・父子福祉センター		1 2 3 4	1 2 3 4 5 6 7

③ ②利用していない理由で、「7 その他」を選択した理由をお聞かせください。

Dエリアまでの移動手段(徒歩以外)として使用しているもの(行かれたことがない方は想定で結構です)は何ですか。あてはまる番号に○印をつけてください(複数回答可)。

- 1 自家用車
2 バス(路線バス、市循環バス(さやりんバス))
3 タクシー
4 原付・バイク等
5 自転車
6 その他()

最後に、あなたご自身についてお尋ねします

次の各項目について、該当するものをそれぞれ1つ選んで、番号に○印をつけてください。

(ア) 年齢	1: 16～19歳	2: 20～29歳
	3: 30～39歳	4: 40～49歳
	5: 50～59歳	6: 60～69歳
	7: 70～79歳	8: 80歳以上
(イ) 家族構成	1: ひとり世帯	2: 夫婦のみ世帯
	3: 二世帯世帯(親と子)	4: 三世帯世帯(親と子と孫)
	5: その他()	
①就学前の乳児・幼児	1: いる()人	1: いない
②小学生・中学生	2: いる()人	2: いない
(ウ) お住まいの小学校区	1: 東小学校区	2: 西小学校区
	3: 南第一小学校区	4: 南第二小学校区
	5: 北小学校区	6: 南第三小学校区
	7: 第七小学校区	
	★校区がわからない場合はお住まいの地区名をご記入ください () (例: 狭山1丁目)	
(エ) 居住年数 ※現住所でのお住まいの年数	1: 5年未満	2: 5～9年
	3: 10～19年	4: 20年以上

その他、本市の公共施設のあり方についてご意見がございましたらご記入ください。(自由記入)

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
 ご回答いただいた本票(アンケート調査票のみ)は、同封の返信用封筒に
 封入し、**4月22日(月)までに**、切手を貼らずに
 ポストにご投函ください。



